

別記様式第2号（その1の1）

(用紙 日本産業規格A4縦型)

基 本 計 画 書

基 本 計 画										
事 物 項		記 入 棚					備 考			
計 画 の 区 分	大学の収容定員に係る学則変更									
フ リ ガ ナ 設 置 者	ガッコウホウジン サガミヨシダイガク 学校法人 相模女子大学									
フ リ ガ ナ 大 学 の 名 称	サガミヨシダイガク 相模女子大学 (Sagami Women's University)									
大 学 本 部 の 位 置	神奈川県相模原市南区文京2丁目1番1号									
大 学 の 目 的	本学は、女子に広く高度な知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を展開させ、建学の精神「高潔善美」にもとづく教養ある人材を育成することを目的とする。									
新 設 学 部 等 の 目 的	建学の精神にもとづく教養ある人材の育成と社会のニーズや変化に対応した教育を実施するため、日本語日本文学科・英語文化コミュニケーション学科・メディア情報学科の入学定員、社会マネジメント学科・人間心理学科の入学定員及び編入学定員を見直し、大学全体の収容定員を変更する。									
新 設 学 部 等 の 概 要	新 設 学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所 在 地		
	学芸学部	年	人	年次人	人		年 月 第 年次			
	日本語日本文学科	4	110 (130)	3年次 5 (5)	450 (530)	学士 (文学)	令和6年4月 第1年次	神奈川県相模原市南区文京2丁目1番1号		
	英語文化コミュニケーション学科	4	110 (120)	3年次 5 (5)	450 (490)	学士 (文学)	令和6年4月 第1年次	同上		
	メディア情報学科	4	95 (80)	3年次 5 (5)	390 (330)	学士 (メディア情報学)	令和6年4月 第1年次	同上		
	人間社会学部	4	110 (120)	3年次 10 (10)	460 (500)	学士 (社会マネジメント学)	令和6年4月 第1年次	同上		
新 設 学 部 等 の 概 要	社会マネジメント学科	4	120 (110)	3年次 10 (12)	500 (464)	学士 (人間心理学)	令和6年4月 第1年次	同上		
	人間心理学科	4	120 (110)	3年次 10 (12)	500 (464)	学士 (人間心理学)	令和6年4月 第1年次	同上		
計		—	—	—	—					
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)		相模女子大学短期大学部 食物栄養学科〔定員減〕 (△40) (令和6年4月)								
教育課程	新設学部等の名称		開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
			講義	演習	実験・実習	計				
教 員 組 織 の 概 要	新設学部等の名称		科目	科目	科目	科目	科目	科目		
	学 部 等 の 名 称		専任教員等					兼 任 教 員 等		
			教授	准教授	講師	助教	計	助 手		
	新 設	学芸学部 日本語日本文学科		9 (9)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	36 (36)
		英語文化コミュニケーション学科		10 (10)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	21 (21)
		メディア情報学科		7 (7)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	23 (23)
		人間社会学部 社会マネジメント学科		10 (10)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	23 (23)
		人間心理学科		9 (9)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	13 (13)	0 (0)	15 (15)
	計		45 (45)	12 (12)	7 (7)	1 (1)	65 (65)	0 (0)	— (—)	
	既 設	学芸学部 子ども教育学科		9 (9)	6 (6)	4 (4)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	38 (38)
		生活デザイン学科		4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	34 (34)
		栄養科学部 健康栄養学科		9 (9)	4 (4)	1 (1)	1 (0)	15 (15)	5 (5)	18 (18)
		管理栄養学科		6 (6)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	14 (14)	6 (6)	8 (8)
		共通教育機構		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	170 (170)
		教職センター		2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)
	計		30 (30)	16 (16)	10 (10)	2 (2)	58 (58)	11 (11)	— (—)	
	合 計		75 (75)	28 (28)	17 (17)	3 (3)	123 (123)	11 (11)	— (—)	

教員以外の職員の概要	職種		専任	兼任	計	業務委託除く 業務委託除く 業務委託（司書）除く 業務委託除く 業務委託除く 業務委託除く			
	事務職員		57 (57)	68 (68)	125 (125)				
	技術職員		0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	図書館専門職員		2 (2)	0 (0)	2 (2)				
	その他の職員		0 (0)	0 (0)	0 (0)				
	計		59 (59)	68 (68)	127 (127)				
校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	35,901m ²	36,490m ²	4,185m ²	76,576m ²				
	運動場用地	0m ²	15,946m ²	0m ²	15,946m ²				
	小計	35,901m ²	52,436m ²	4,185m ²	92,522m ²				
	その他	0m ²	32,216m ²	0m ²	32,216m ²				
	合計	35,901m ²	84,652m ²	4,185m ²	124,738m ²				
教室等	校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計				
		17,419.87m ² (17,419.87m ²)	40,425.84m ² (40,425.84m ²)	525.10m ² (525.10m ²)	58,370.81m ² (58,370.81m ²)				
	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	室	室	室	室	室				
	新設学部等の名称			室	数				
	専任教員研究室				室				
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標本		
		〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	点	点	点		
	計	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)		
		〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)	〔 〕 (〔 〕)		
	図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数			
		m ²							
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				○経費の見積り 項目について は、大学院・大学・短期大学部 を含めた全体について記入。 ○図書購入費には電子ジャーナル・ データベースの整備 費含む。	
		m ²							
		区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次		
		教員1人当たり研究費等		460千円	460千円	460千円	460千円	—	—
	学生1人当たり納付金	共同研究費等		20,400千円	20,400千円	20,400千円	20,400千円	—	—
		図書購入費	51,651千円	51,651千円	51,651千円	51,651千円	51,651千円	—	—
		設備購入費	139,725千円	139,725千円	139,725千円	139,725千円	139,725千円	—	—
	経費の見積り 及び維持方法の概要	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		日本語日本文学科	1,345千円	1,045千円	1,045千円	1,045千円	—	—	
		英語文化コミュニケーション学科	1,386千円	1,082千円	1,108千円	1,045千円	—	—	
		子ども教育学科	1,455千円	1,155千円	1,155千円	1,155千円	—	—	
		メディア情報学科	1,376千円	1,070千円	1,070千円	1,068千円	—	—	
		生活デザイン学科	1,470千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	—	—	
		社会マネジメント学科	1,432千円	1,064千円	1,060千円	1,055千円	—	—	
		人間心理学科	1,350千円	1,050千円	1,045千円	1,045千円	—	—	
		健康栄養学科	1,480千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円	—	—	
		管理栄養学科	1,485千円	1,185千円	1,185千円	1,185千円	—	—	
		学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用による収入、雑収入等にて維持運営する。						

既設大学等の状況	大学の名称	相模女子大学大学院								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	栄養科学研究科 栄養科学専攻 博士前期課程 博士後期課程	年 2 3	人 6 2	年次人 - -	人 12 6	修士(栄養科学) 修士(栄養科学)	倍 0 0	平成20年度 平成22年度	神奈川県相模原市 南区文京2丁目1番1号	
	社会起業研究科 社会起業専攻	年 2	人 30	年次人 - <td>人 60</td> <td>修士(社会起業)</td> <td>倍 0.57</td> <td>令和2年度</td> <td></td> <td data-kind="ghost"></td>	人 60	修士(社会起業)	倍 0.57	令和2年度		
	大学の名称	相模女子大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	学芸学部 日本語日本文学科 英語文化コミュニケーション学科 子ども教育学科	年 4 4 4	人 130 120 100	年次人 3年次 5 5 2年次 2 3年次 5	人 530 490 416	学士(文学) 学士(文学) 学士(子ども教育)	倍 0.76 0.71 1	昭和24年度 昭和42年度 平成20年度	神奈川県相模原市 南区文京2丁目1番1号	
	メディア情報学科 生活デザイン学科	年 4 4	人 80 45	年次人 3年次 5 5	人 330 190	学士(メディア情報学) 学士(生活デザイン学)	倍 1.41 1.24	平成20年度 平成25年度		
	人間社会学部 社会マネジメント学科 人間心理学科	年 4 4	人 120 110	年次人 3年次 10 12	人 500 464	学士(社会マネジメント学) 学士(人間心理学)	倍 0.82 1.05	平成20年度 平成20年度		
	栄養科学部 健康栄養学科 管理栄養学科	年 4 4	人 80 100	年次人 3年次 8 10	人 336 420	学士(栄養学) 学士(栄養学)	倍 0.94 0.96	平成20年度 平成20年度		
	大学の名称	相模女子大学短期大学部								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	食物栄養学科	年 2	人 120	人 -	人 240	短期大学士(栄養学)	倍 0.57	平成15年度	神奈川県相模原市 南区文京2丁目1番1号	
	附属施設の概要	該当なし								

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとすること。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人 相模女子大学 設置認可等に關わる組織の移行表

令和5年度

入学定員 編入学定員 収容定員

令和6年度

入学定員 編入学定員 収容定員 変更の事由

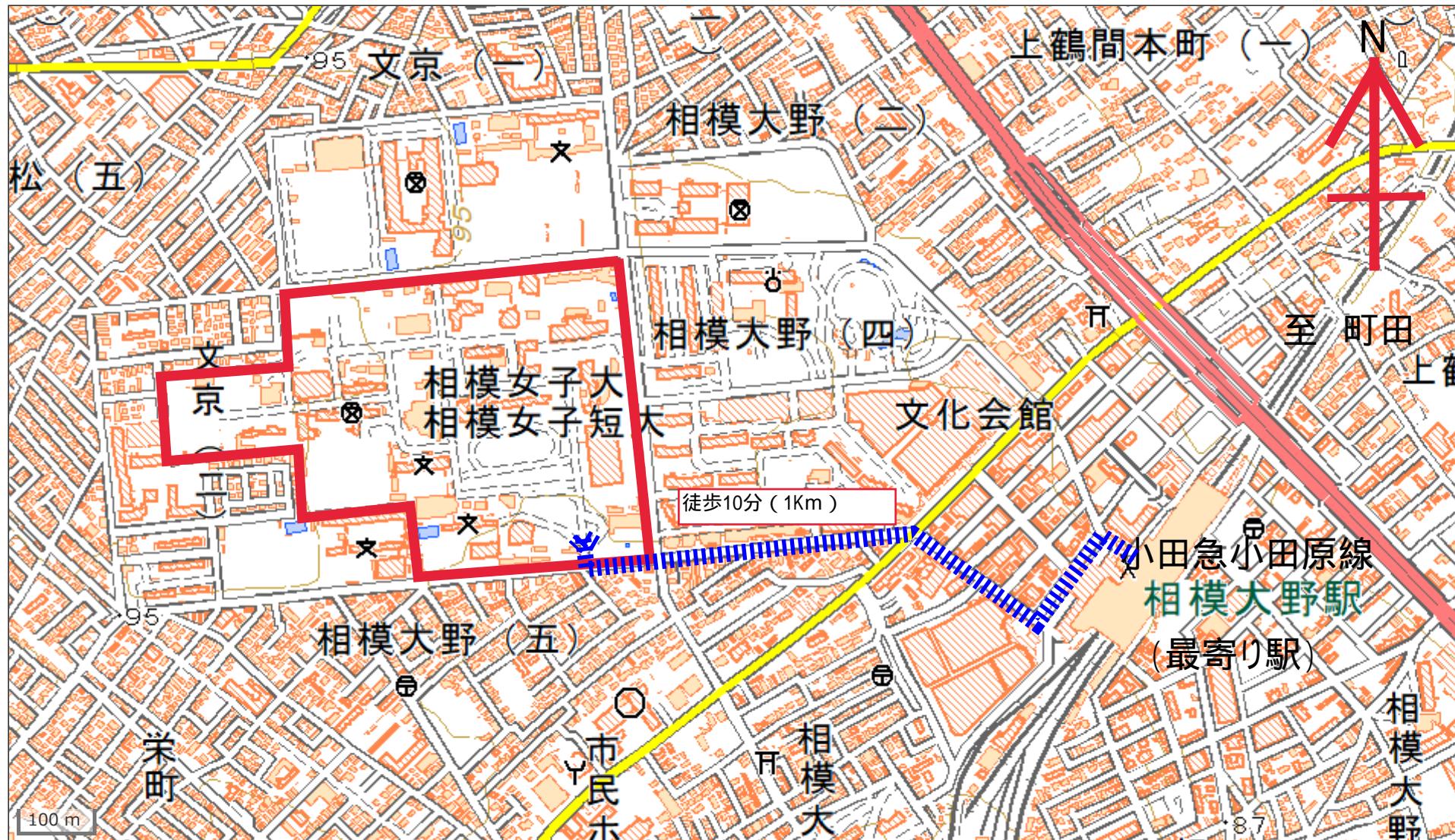
相模女子大学				相模女子大学			
学芸学部				学芸学部			
日本語日本文学科	130	3年次 5	530	日本語日本文学科	110	3年次 5	450 定員変更(△20)
英語文化コミュニケーション学科	120	3年次 5	490	英語文化コミュニケーション学科	110	3年次 5	450 定員変更(△10)
子ども教育学科	100	3年次 5 2年次 2	416	子ども教育学科	100	3年次 5 2年次 2	416
メディア情報学科	80	3年次 5	330	メディア情報学科	95	3年次 5	390 定員変更(15)
生活デザイン学科	45	3年次 5	190	生活デザイン学科	45	3年次 5	190
計	475	3年次25 2年次2	1,956	計	460	3年次25 2年次2	1,896
人間社会学部				人間社会学部			
社会マネジメント学科	120	3年次10	500	社会マネジメント学科	110	3年次10	460 定員変更(△10)
人間心理学科	110	3年次12	464	人間心理学科	120	3年次10	500 定員変更(10) 3年次編入学定員変更(△2)
計	230	3年次22	964	計	230	3年次20	960
栄養科学部				栄養科学部			
健康栄養学科	80	3年次 8	336	健康栄養学科	80	3年次 8	336
管理栄養学科	100	3年次10	420	管理栄養学科	100	3年次10	420
計	180	18	756	計	180	18	756
相模女子大学大学院				相模女子大学大学院			
栄養科学研究科				栄養科学研究科			
栄養科学専攻 (博士前期課程)	6	—	12	栄養科学専攻 (博士前期課程)	6	—	12
栄養科学専攻 (博士後期課程)	2	—	6	栄養科学専攻 (博士後期課程)	2	—	6
社会起業研究科 社会起業専攻 (専門職大学院)	30	—	60	社会起業研究科 社会起業専攻 (専門職大学院)	30	—	60
計	38	—	78	計	38	—	78
相模女子大学短期大学部				相模女子大学短期大学部			
食物栄養学科	120	—	240	食物栄養学科	80	—	160 定員変更(△40)
計	120	—	240	計	80	—	160

(1)都道府県内における位置関係の図面

神奈川県相模原市南区文京2-1-1
学校法人 相模女子大学



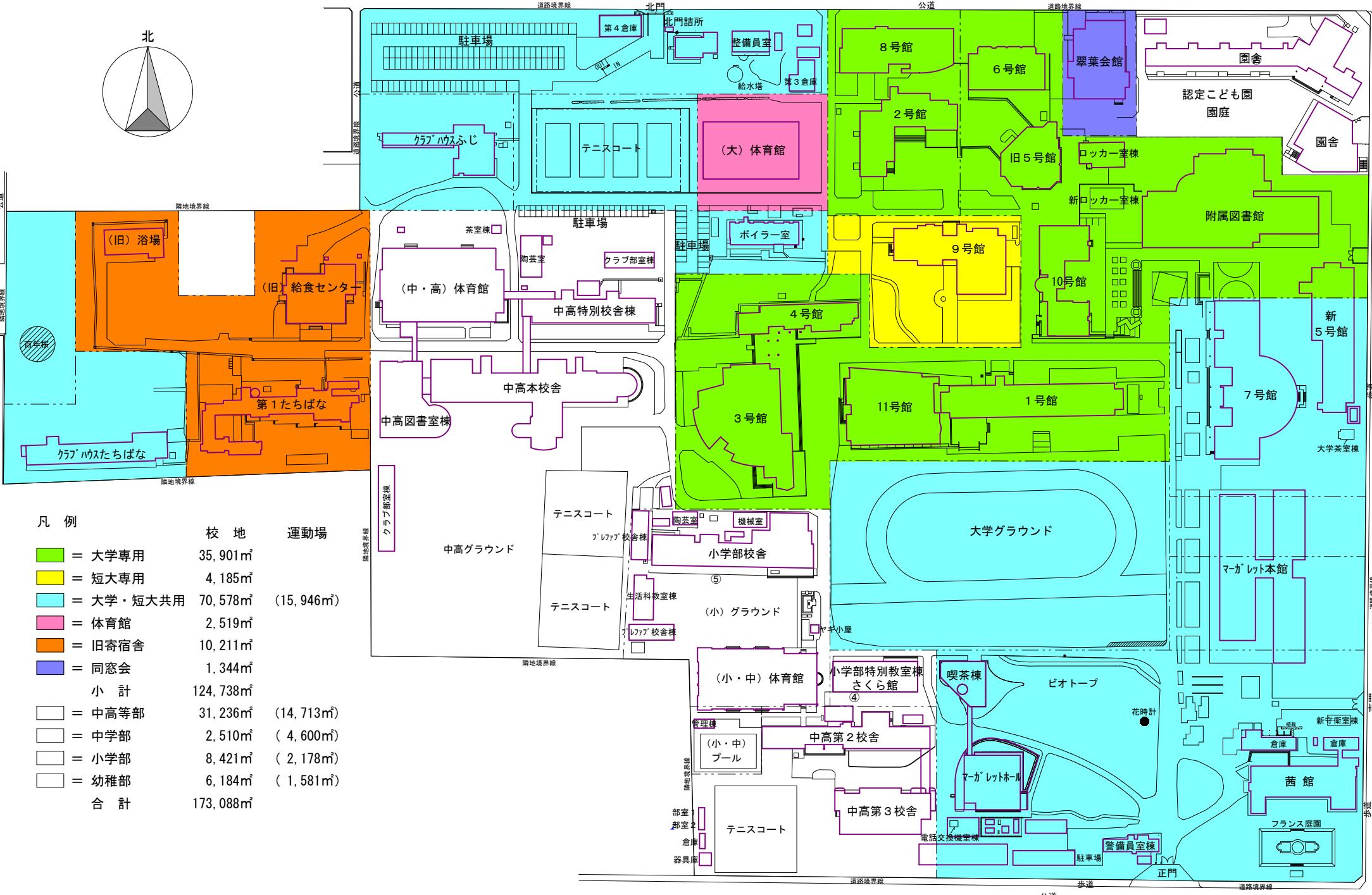
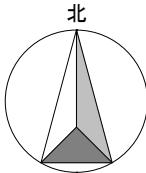
出典：国土地理院ウェブサイト 地理院地図Globeを加工して作成
https://maps.gsi.go.jp/globe/index_globe.html#46469/35.4382089/139.4311134/1/360/-90/0/&base=std&ls=std&disp=1&lcd=

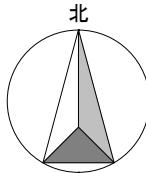


出典：国土地理院ウェブサイト 地理院地図Globeを加工して作成
https://maps.gsi.go.jp/globe/index_globe.html#2528/35.53398444/139.42910773/1/360/-90/0/&base=std&ls=std&disp=1&lcd=

校地区画図

(3) 校舎、運動場等の配置図





未

公道
腳地境界線

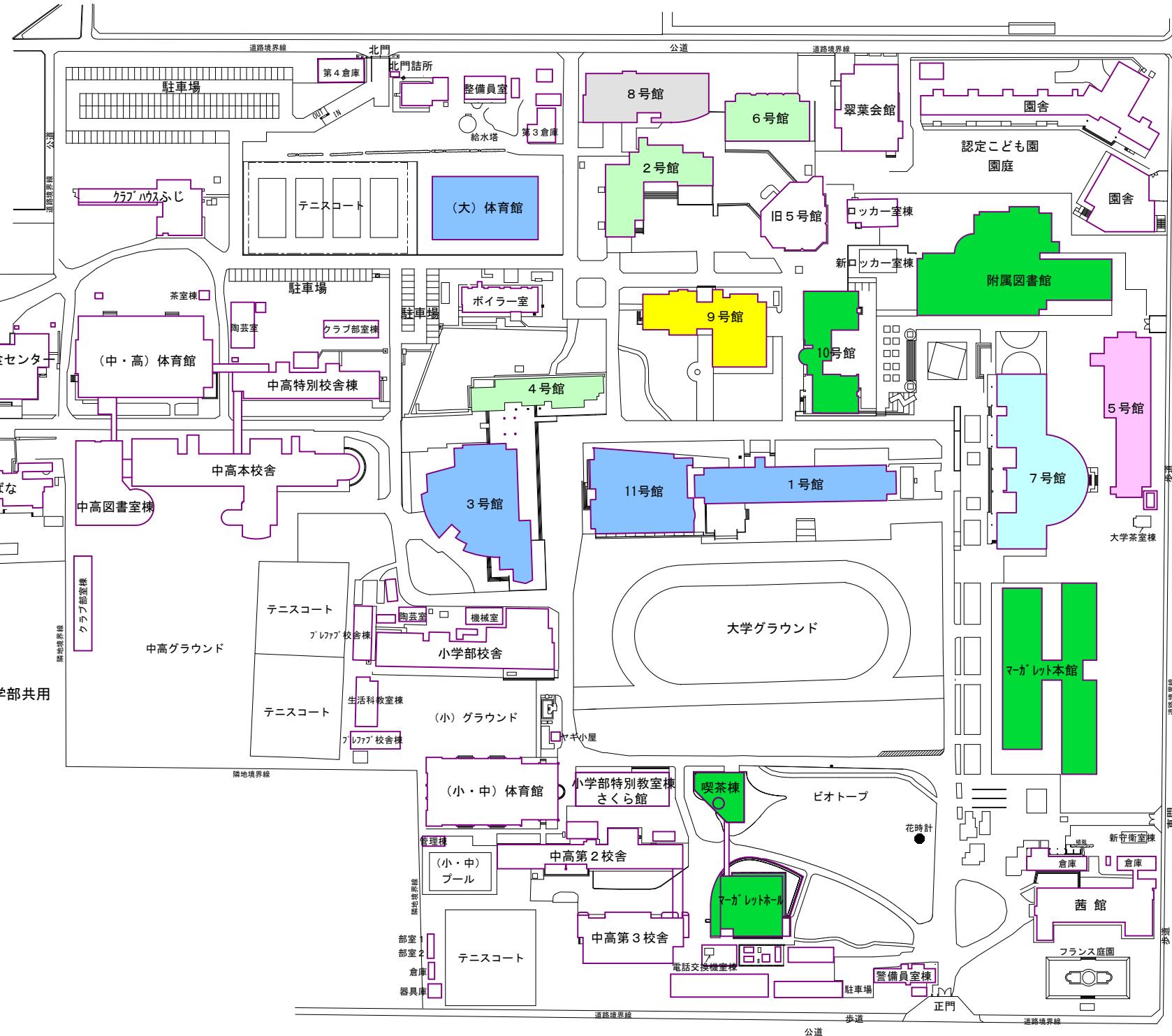
西

凡例

- : 大学・大学院・短期大学部共用
 - : 大学・大学院（社会起業研究科）・短期大学部共用
 - : 全学部共用
 - : 学芸学部・人間社会学部共用
 - : 栄養科学部・短期大学部共用
 - : 学芸学部専用
 - : 短期大学部専用

施設配置図 SCALE 1 : 1500

2022年4月現在



相模女子大学学則（案）

昭和 24 年 3 月 25 日
制定

第 1 章 総 則

第1条 相模女子大学は、女子に広く高度な知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を展開させ、建学の精神「高潔善美」にもとづく教養ある人材を育成することを目的とする。

第1条の2 本学は、教育研究の向上を図り、前条の目的および社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行い、その教育研究活動等の改善・充実に努める。

2 前項の自己点検・評価に関する規程は別に定める。

第2条 本学に学芸学部、人間社会学部および栄養科学部を置く。

2 学芸学部に日本語日本文学科、英語文化コミュニケーション学科、子ども教育学科、メディア情報学科、生活デザイン学科を置く。

3 人間社会学部に社会マネジメント学科、人間心理学科を置く。

4 栄養科学部に健康栄養学科、管理栄養学科を置く。

5 各学部の修業年限は 4 年とする。ただし、在学期間は 8 年を超えることはできない。

第2条の2 本学に大学院及び専門職大学院を置く。

2 大学院及び専門職大学院の学則は、別に定める。

第2条の2の2 本学に教職センター及び子育て支援センターを置く。

2 各センターに関する規程は別に定める。

（学芸学部の目的）

第2条の3 学芸学部は、真に自立した人間の育成を目指し、人文科学系の学問を中心に、総合的な知識・教養・倫理を教授し、情報化・国際化社会に対応できるコミュニケーション能力を養成することを目的とする。

2 前項の目的を達成するため、学芸学部各学科の目的は次に掲げるとおりとする。

（1）日本語日本文学科

日本語日本文学科は、日本語・日本文学の探究を基盤として、日本の文化について幅広くとらえ、その更なる創造と発展に寄与することのできる人間を育成する。

（2）英語文化コミュニケーション学科

英語文化コミュニケーション学科は、英語を中心としたコミュニケーション能力を高めるとともに、さまざまな文化に対する視野を広げ、国際的に活躍できる人間を育成する。

（3）子ども教育学科

子ども教育学科は、現代社会における教育・保育のあり方を問い合わせ直し、新しい子育てのシステムおよび教育・学習システムを構築することを目指し、幅広い教養を基礎に、実践的な教育力のある人間を育成する。

（4）メディア情報学科

メディア情報学科は、メディアに対する深い知識を身につけ、その内容である情報を文化的・社会的に幅広く理解し、メディアクリエーターとして実践的に情報発信に携わる

ことのできる人間を育成する。

(5) 生活デザイン学科

生活デザイン学科は、生活者としての視点で、社会を的確に捉え、読み解く力を養うと共に、社会での自立を目標に幅広い知識や教養を身につけ、人の生活を基盤とした生活のしくみ、環境、情報、モノをデザインする力を養い、クリエイションを通して社会で活躍できる人材を育成することを目的にする。

(人間社会学部の目的)

第2条の4 人間社会学部は、社会の動きやしくみを的確に把握する力、感性を生かして人の心を敏感に感じ取る力を育むとともに、社会人としてあるべき教養とマナーを身につけ、自立の実現をめざし、社会の発展と人類の平和に貢献できる人材の育成を目的とする。

2 前項の目的を達成するため、人間社会学部各学科の目的は、次に掲げるとおりとする。

(1) 社会マネジメント学科

社会マネジメント学科は、社会を通じて自らの存在を理解し、多様な社会生活の場で必要とされる企画、運営、実行の基礎となる能力を修得することにより、実際の社会で生き生きと活躍できる女性を養成する。

(2) 人間心理学科

人間心理学科は、多様な視点から現代人の心を探求することにより、他者の心を理解しつつ自分自身の感覚と判断に従って自立的に生きる態度を培い、社会において幅広く活躍できる女性を養成する。

(栄養科学部の目的)

第2条の5 栄養科学部は、食による健康維持、疾病の予防と治療が実践できる質の高い専門知識と技術を習得し、食の現場で活躍できる人材、かつ教職の場で栄養指導ができる人材、さらに食の安全衛生に関する監視・指導を行うことのできる人材を育成することを目的とする。

2 前項の目的達成のために、栄養科学部を健康栄養学科と管理栄養学科の2学科より編成し、それぞれの学科の特色に沿った授業科目を設定する。

(1) 健康栄養学科

健康栄養学科は、健康人を対象に、食による健康維持の指導ができ、教職の場で家政教育ができる人材の育成を目的とする。

(2) 管理栄養学科

管理栄養学科は、臨床の現場で、食による病気の予防と治療が実践でき、かつ教職の場で食教育の指導ができる人材の育成を目的とする。

第3条 本学は、神奈川県相模原市南区文京2丁目1番1号に置く。

第4条 本学は、図書館、研究室、実験実習室、体育館を設け附属として高等部、中学部、小学部、幼稚部を置く。

第 2 章 学年、学期、休業日

第5条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第6条 学年は、これを分けて春学期、秋学期とする。

春学期 4月1日より9月23日に至る。

秋学期 9月24日より3月31日に至る。

第7条 学年中休業日は次のとおりとする。

- (1)日曜日
- (2)国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3)本学創立記念日 10月18日
- (4)春季休業 自 3月21日 至 3月31日
- (5)夏季休業 自 8月1日 至 9月23日
- (6)冬季休業 自 12月21日 至 1月9日

ただし、休業日でも実習を課し、または特別講義を聽講させことがある。

- 2 前項の休業日ならびに休業期間については、学長は必要と認めた場合臨時に変更し、または臨時の休業日を定めることができる。

第 3 章 授業科目および教育課程

第8条 学芸学部の授業科目は全学共通科目、専門教育科目に分け、別に教職・教科に関する科目および特別支援教育に関する科目、司書・司書教諭・学校司書に関する科目、保育士に関する科目、学芸員に関する科目、情報処理士、上級情報処理士に関する科目、ビジネス実務士に関する科目、ウェブデザイン実務士に関する科目、一級・二級建築士試験指定科目、インテリアプランナー登録資格科目、商業施設士（補）に関する科目を置く。

- 2 授業科目は、必修科目または選択必修科目・選択科目として指定される。

第8条の2 人間社会学部の授業科目は全学共通科目、専門教育科目に分け、別にプレゼンテーション実務士、社会調査士および社会福祉士国家試験受験に関する科目、公認心理師国家試験受験資格に関する科目、准学校心理士に関する科目、ピアヘルパーに関する科目、情報処理士に関する科目を置く。

- 2 授業科目は、必修科目または選択必修科目・選択科目として指定される。

第8条の3 栄養科学部の授業科目は全学共通科目、専門教育科目に分け、別に栄養士・管理栄養士に関する科目、食品衛生管理者および食品衛生監視員に関する科目、教職・教科に関する科目および栄養教諭に関する科目、フードスペシャリストに関する科目、情報処理士に関する科目を置く。

- 2 授業科目は、必修科目または選択必修科目・選択科目として指定される。

第9条 授業科目を履修した学生には、修了認定の上授業科目ごとに単位が与えられる。

- 2 各授業科目的単位は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、次の基準により計算する。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実験、実習および実技については、45時間の授業をもって1単位とする。ただし、大学が別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。

- 3 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学

修等を考慮して、単位数を定めることができる。

第9条の2 前条第2項に規定する講義、演習、実験、実習又は実技による授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

2 前項に規定する授業の方法により修得できる単位数は、60単位を限度とする。

第10条 各学部学科の授業科目および単位数は別表のとおりとする。

2 教授会は、必要に応じて、前項の別表に定めた授業科目以外の授業科目およびその単位数を定めることができる。

第11条 学生は、履修しようとする授業科目を、毎学期の初めの所定の期間内に届け出なければならぬ。

2 各学部の授業科目の履修方法は次のとおりとする。

(1) 学芸学部の卒業に要する単位は、次のとおりとする。 (別表第1、2)

授業科目区分		学科	日本語日本文学科	英語文化コミュニケーション学科	子ども教育学科	メディア情報学科	生活デザイン学科
全学共通科目	必修	6	6	6	6	6	6
	選択必修	13	13	13	13	13	13
	選択	5	5	5	5	5	5
小計		24	24	24	24	24	24
専門教育科目	必修	28	29	11	26	25	
	選択必修	28	15	7	38	34	
	選択	24	36	62	16	21	
小計		80	80	80	80	80	
自由科目		20	20	20	20	20	
合計		124	124	124	124	124	

自由科目は、全学共通科目および専門教育科目の卒業要件となる単位数を超える科目単位数並びに資格科目・単位互換科目等を認定する単位数である。

(2) 人間社会学部の卒業に要する単位は、次のとおりとする。 (別表第1、2)

授業科目区分		学科	社会マジメント学科	人間心理学科
全学共通科目	必修	6	6	6
	選択必修	13	13	13
	選択	5	5	5
小計		24	24	24
	必修	12	12	28

専門教育科目	選択必修	56	14
	選択	8	38
小 計		76	80
自由科目		24	20
合 計		124	124

自由科目は、全学共通科目および専門教育科目の卒業要件となる単位数を超える科目単位数並びに資格科目・単位互換科目等を認定する単位数である。

(3) 栄養科学部の卒業に要する単位は、次のとおりとする。 (別表第1、2)

学科		健康栄養学科	管理栄養学科
全学共通科目	必修	6	6
	選択必修	13	13
	選択	5	3
小 計		24	22
専門教育科目	必修	77	83
	選択必修	—	—
	選択	13	6
小 計		90	89
自由科目		10	13
合 計		124	124

自由科目は、全学共通科目および専門教育科目の卒業要件となる単位数を超える科目単位数並びに資格科目・単位互換科目等を認定する単位数である。

2年次までに配当されている専門教育科目の中で、健康栄養学科においては53単位中35単位を、管理栄養学科においては58単位中39単位を取得することを、3年次への進級要件とする。

(4) 学芸学部および栄養科学部において教育職員免許状を得ようとする者は、(1)、(3)の規定によるほか、教育職員免許法および同法施行規則の定める科目 (別表第3、4)を履修し、単位を修得しなければならない。

各学部学科において取得できる教育職員免許状の種類と教科は次のとおりである。

学芸学部

日本語日本文学科	中学校教諭1種免許状	国語
	高等学校教諭1種免許状	国語、書道
英語文化コミュニケーション学科	中学校教諭1種免許状	外国語(英語)
	高等学校教諭1種免許状	外国語(英語)

子ども教育学科	小学校教諭 1種免許状
	幼稚園教諭 1種免許状
	特別支援学校教諭 1種免許状 知的障害者、 肢体不自由者、病弱者
メディア情報学科	高等学校教諭 1種免許状 情報
栄養科学部	
健康栄養学科	中学校教諭 1種免許状 家庭
	高等学校教諭 1種免許状 家庭
管理栄養学科	栄養教諭 1種免許状

- (5) 学芸学部日本語日本文学科、英語文化コミュニケーション学科およびメディア情報学科において図書館司書の資格を得ようとする者は、(1)の規定によるほか、図書館法および同法施行規則の定める所定の科目(別表第5)を履修し、単位を修得しなければならない。
- (6) 学芸学部日本語日本文学科、英語文化コミュニケーション学科、子ども教育学科およびメディア情報学科において司書教諭の資格を得ようとする者は、(1)の規定によるほか、(4)の規定による教職・教科に関する科目を履修するとともに、学校図書館司書教諭講習規程に基づく所定の科目(別表第5)を履修し、単位を修得しなければならない。
- (7) 学芸学部日本語日本文学科、英語文化コミュニケーション学科、子ども教育学科およびメディア情報学科において学校司書モデルカリキュラムに準拠した所定の科目の単位を得ようとする者は、(1)の規定によるほか、学校司書に関する所定の科目(別表第5)を履修し、単位を修得しなければならない。
- (8) 学芸学部子ども教育学科において保育士の資格を得ようとする者は、(1)の規定によるほか、児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号の規定に基づき、厚生労働大臣の定める修業教科目および単位数(別表第6)を修得しなければならない。
- (9) 学芸学部メディア情報学科において学芸員の資格を得ようとする者は、(1)の規定によるほか、博物館に関する科目(別表第7)を履修し、単位を修得しなければならない。
- (10) 学芸学部メディア情報学科において上級情報処理士の資格を得ようとする者は、(1)の規定によるほか、上級情報処理士に関する科目(別表第8)を履修し、単位を修得しなければならない。
- (11) 学芸学部メディア情報学科においてビジネス実務士の資格を得ようとする者は、(1)の規定によるほか、ビジネス実務士取得に関する科目(別表第9)を履修し、単位を修得しなければならない。
- (12) 学芸学部メディア情報学科においてウェブデザイン実務士の資格を得ようとする者は、(1)の規定によるほかウェブデザイン実務士取得に関する科目(別表第10)を履修し、単位を修得しなければならない。
- (13) 学芸学部生活デザイン学科において一級建築士、二級建築士の受験資格を得るために(1)の規定によるほか一級・二級建築士試験指定科目(別表第11)を履修し、単位を修得しなければならない。

- (14) 学芸学部生活デザイン学科においてインテリアプランナーの登録資格を得るために、
(1) の規定によるほか、インテリアプランナー登録資格科目（別表第12）を履修し、
単位を修得しなければならない。
- (15) 学芸学部生活デザイン学科において商業施設士（補）の資格を得るために、(1)
の規定によるほか、商業施設士（補）に関する科目（別表第13）を履修し、単位を修得
しなければならない。
- (16) 人間社会学部社会マネジメント学科においてプレゼンテーション実務士の資格を得よ
うとする者は、(2) の規定によるほか、プレゼンテーション実務士に関する科目（別
表第14）を履修し、単位を修得しなければならない。
- (17) 人間社会学部社会マネジメント学科において社会調査士の資格を得ようとする者は、
(2) の規定によるほか、社会調査士に関する科目（別表第15）を履修し、単位を修得
しなければならない。
- (18) 人間社会学部社会マネジメント学科および人間心理学科において社会福祉士国家試験
の受験資格を得ようとする者は、(2) の規定によるほか、社会福祉士国家試験の受験
資格に関する科目（別表第16）を履修し、単位を修得しなければならない。
- (19) 人間社会学部人間心理学科において准学校心理士の資格を得ようとする者は、(2) の
規定によるほか、准学校心理士に関する科目（別表第 17）を履修し、単位を修得しな
ければならない。
- (20) 人間社会学部人間心理学科においてピアヘルパーの受験資格を得ようとする者は、(2)
の規定によるほか、ピアヘルパーに関する科目（別表第18）を履修し、単位を修得しな
ければならない。
- (21) 人間社会学部人間心理学科において公認心理師国家試験の受験資格を得ようとする者
は、(2) の規定によるほか、公認心理師国家試験の受験資格に関する科目（別表第19）
を履修し、単位を修得しなければならない。
- (22) 栄養科学部健康栄養学科において栄養士の資格を得るために、(3) の規定による
ほか、栄養士法、同法施行令および同法施行規則に定める所定の科目（別表第20）を履
修し、単位を修得しなければならない。
- (23) 栄養科学部健康栄養学科においてフードスペシャリストの受験資格を得ようとする者
は、(3) の規定によるほか、フードスペシャリストに関する科目（別表第21）を履修
し、単位を修得しなければならない。
- (24) 栄養科学部健康栄養学科および管理栄養学科において食品衛生管理者および食品衛生
監視員の資格を得ようとする者は、(3) の規定によるほか、食品衛生管理者および食
品衛生監視員に関する科目（別表第22）を履修し、単位を修得しなければならない。
- (25) 栄養科学部管理栄養学科において栄養士の資格を得るために、(3) の規定による
ほか、栄養士法、同法施行令および同法施行規則に定める所定の科目（別表第23）を履
修し、単位を修得しなければならない。
- (26) 栄養科学部管理栄養学科において管理栄養士国家試験の受験資格を得るために、(3)
の規定によるほか、栄養士法、同法施行令、同法施行規則および管理栄養士学校指定規
則に定める所定の科目（別表第24）を履修し、単位を修得しなければならない。
- (27) 学芸学部、人間社会学部、栄養科学部において情報処理士の資格を得ようとする者は、
(1) (2) (3) の規定によるほか、情報処理士に関する科目（別表第25）を履修し、

単位を修得しなければならない。

第11条の2 本学は、学生が各学期にわたって適切に授業科目を履修するために、卒業要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めることができる。

2 本学は、その定めるところにより、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を越えて履修科目の登録を認めることができる。

3 本条に関する規程は別に定める。

第11条の3 本学は、他学科の専門教育科目を履修させることができる。

2 他学科科目履修に関し必要な事項は、別に定める。

第12条 本学が教育上有益と認めるときは、他の大学または短期大学との協議により、学生に当該大学または当該短期大学の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、60単位を限度として本学において修得した単位として認定できる。

3 前2項の規定は、学生が外国の大学または短期大学に留学する場合に準用する。

第12条の2 本学が教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる。

2 前項により認定できる単位数は、前条第2項および第3項の単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第13条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む）を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる。

2 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修により修得したものとして認定することができる。

3 前1項および2項により認定できる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き本学において修得した単位以外のものについては、第12条第2項および第3項ならびに前条第2項の単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第 4 章 入学、留学、転学部転学科、休学、復学、退学、転学、再入学および編入学

第14条 入学の時期は4月とする。

第15条 収容定員は次のとおりとする。

入学定員	編入学定員	収容定員
	(第2年次)	(第3年次)

学芸学部

日本語日本文学科	110名	5名	450名
英語文化コミュニケーション学科	110名	5名	450名
子ども教育学科	100名	2名	416名
メディア情報学科	95名	5名	390名
生活デザイン学科	45名	5名	190名

小計	460名	2名	25名	1,896名
人間社会学部				
社会マネジメント学科	110名		10名	460名
人間心理学科	120名		10名	500名
小計	230名		20名	960名
栄養科学部				
健康栄養学科	80名		8名	336名
管理栄養学科	100名		10名	420名
小計	180名		18名	756名
合計	870名	2名	63名	3,612名

2 学芸学部子ども教育学科および栄養科学部健康栄養学科、管理栄養学科の学級数は、1学年各2学級、4学年合計各8学級とする。

第16条 本学に入学できる者は、女子にして次の各号の1に該当する者でなければならない。

- (1) 高等学校を卒業した者または中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）
- (6) 相当の年令に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者
- (7) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (8) 個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

第17条 前条の入学志願者の数が定員を超えるときは、選抜試験の上、学長は入学を許可することができる。

第18条 入学志願者は、所定の様式の入学願書に別に定めるところの書類その他を添えて提出しなければならない。

第19条 入学を許可された者は、速やかに本学所定の在学保証書を保証人および副保証人連署の上提出しなければならない。

第20条 保証人は、父母またはこれに準ずる者で本人在学中における一切の事項について責任を負うものとする。副保証人は、独立の生計を営む者でなければならない。

第21条 保証人または副保証人が死亡し、または前条の要件を失った場合には、さらに保証人または副保証人を定め在学保証書を提出しなければならない。保証人または副保証人を変更しようとするときも同様とする。保証人または副保証人が転居したときは、速やかに届け出なければならない。

第22条 保証人または副保証人が長期にわたり不在のときは、あらかじめ相当の代理保証人を定め届け出なければならない。

第23条 本学に在学する者は、自宅または学寮以外から通学する場合は、居住先を学長に届け出なければならない。

第24条 本学の学生が、本学との間であらかじめ留学に関する協議が成立しているか、または教授会の議を経て学長が認定した外国の大学または短期大学の授業科目を履修するため、当該大学等への留学を希望するときは、審査の上、学長はこれを許可することができる。

2 留学期間は、1年以内とする。ただし、特別の事情があると認められる場合は、通算して2年を超えない範囲で留学期間の延長ができる。

3 留学期間は、修業年限および在学年限に算入する。

第24条の2 本学の学生が特別の事情により、他の学部の学科、同一学部内の他の学科を志望するときは、選考の上、学長はこれを許可することができる。

2 前項に関する規程は、別に定める。

第25条 病気その他やむを得ない事情により2ヵ月以上休学する者は、その理由を記し、保証人連署の上願い出なければならない。

2 休学期間は、継続して1年以内とする。ただし、特別の事情があると認められる場合は、通算して4年を超えない範囲で休学期間の延長ができる。

3 休学期間は、修業年限および在学期間に算入しない。

4 休学の理由が消滅して出校する場合は、保証人連署の上復学を願い出なければならない。

5 復学は、学期の始めとする。

第26条 退学および転学を望む者は、その理由を記し、保証人連署の上願い出なければならない。

第27条 本学を退学した者が再入学を希望するときは、選考の上、学長はこれを許可することができる。

第28条 次に掲げる者に対しては、欠員または編入学定員のある場合に限り、選考の上、学長は転入学または編入学を許可することができる。

(1) 他の大学から本学に転入学を志望する者

(2) 大学、短期大学または編入学に関する法令に定める教育課程の卒業者で本学に編入学を希望する者

第29条 次の各号の1に該当する者は、教授会の議を経て学長が退学を命ずることができる。

(1) 第2条第5項に定める在学年限を超えた者

(2) 第25条第2項に定める休学期間を超えた者

(3) 授業料等納付金を滞納し、督促を受けてもなお納入しない者

(4) 長期間行方不明の者

第30条 学生の入学、留学、転学部転学科、休学、復学、退学、転学、再入学および編入学は、教授会の議を経て学長が許可することができる。ただし、教授会での審議に当たっては、第52条の2第3項、第4項および第5項によるものとする。

第 5 章 委託生、外国学生、科目等履修生、単位互換履修生、研究生、聴講生

第31条 公共団体その他の機関から本学の特定科目につき研究を委託された者があるときは、教授会の議を経て学長は委託生として許可することができる。外国学生の場合は大学評議会の議を経て学長はこれを許可することができる。

2 委託生、外国学生に関しては、本学則および規則を適用する。

第32条 本学に開設されている授業科目のうち、1または複数の科目の履修を希望する者に対しては、正規課程の学生の教育に支障が生じない場合に限り、教授会において選考の上、学長は科目等履修生としてこれを許可することができる。

- 2 科目等履修生として願い出ることのできる者は、第16条に規定する入学資格を有する者とする。ただし、教授会が当該授業科目を履修することのできる十分な学力を有すると認める者については、この限りではない。
- 3 履修を希望する者は、所定の期日までに願書等必要書類に検定料10,000円を添えて願い出なければならない。
- 4 履修を許可された者は、所定の期日までに登録料10,000円、履修料1単位につき15,000円を納入しなければならない。実験実習費は別途徴収する。一度納入した学費は一切返還しない。
- 5 科目等履修生の在学期間は、6カ月とする。ただし、引き続き履修しようとする者は、新たに願い出で許可を受けなければならない。
- 6 科目等履修生は、その履修する科目について正規の学生に準じ単位を修得することができる。
- 7 科目等履修生に関する規程は別に定める。

第32条の2 本学と単位互換協定を締結している大学および短期大学に在籍し、本学に単位互換科目として開設されている授業科目の履修を希望する者に対しては、正規課程の学生の教育に支障が生じない場合に限り、教授会の議を経て、学長は単位互換履修生としてこれを許可することができる。

- 2 単位互換履修生に関する規程は、別に定める。

第32条の3 本学において特定の事項について研究を行うことを希望する者があるときは、教授会の議を経て、学長は研究生としてこれを許可することができる。

- 2 研究生に関する規程は、別に定める。

第32条の4 本学の学生以外の者で、本学に開設されている授業科目のうち、1または複数の科目の聴講を希望する者があるときは、正規課程の学生の教育に支障が生じない場合に限り、教授会において選考の上、学長は聴講生としてこれを許可することができる。

- 2 聴講生に関する規程は別に定める。

第 6 章 試験および卒業

第33条 授業科目の終了は、試験によって認定する。

第34条 試験は、毎学期の終わりの所定の期間に行う。ただし、授業科目により特別の事情がある場合は他の時期に行うことができる。

- 2 試験等に関する事項は、別に定める。

第35条 試験は、筆記試験、論文試験または口述試験および実習、実験とする。

第36条 試験の成績は、S、A、B、C、D又はP、Fの7種類の評語をもって表し、S、A、B、C、Pを合格とする。

第37条 病気その他やむを得ない事情により試験に欠席した者に対しては、追試験を行うことができる。

第38条 休学した者は、その学期の試験を受けることができない。

第39条 削除

第40条 本学に4年以上、途中編入の場合はそれぞれ指定された期間在学し、所定の科目および

単位数を修得した者に対して学長は、教授会の議を経て卒業証書を授与する。

- 2 卒業の時期は、学年の終了日とする。ただし、春学期終了日までに卒業要件を充たした場合は、春学期の終了日とすることができる。
- 3 本学を卒業した者には、学士の学位を授与する。
- 4 前項の学位の表記は、次のとおりとする。

学芸学部

日本語日本文学科	学士（文 学）
英語文化コミュニケーション学科	学士（文 学）
子ども教育学科	学士（子ども教育）
メディア情報学科	学士（メディア情報学）
生活デザイン学科	学士（生活デザイン学）
人間社会学部	
社会マネジメント学科	学士（社会マネジメント学）
人間心理学科	学士（人間心理学）
栄養科学部	
健康栄養学科	学士（栄養学）
管理栄養学科	学士（栄養学）

第 7 章 検定料、入学金および授業料その他

第41条 本学に入学を志願する者は、入学検定料35,000円を納めなければならない。

第42条 入学金および授業料等の学費は別表第26のとおりとする。

第43条 本学に入学を許可された者は、第42条の別表第26に定める入学金および授業料等の学費を納めなければならない。

第44条 授業料、施設設備費、実験実習費は半額ずつ春学期分は4月30日まで、秋学期分は10月31日までに納めなければならない。

第45条 一度納入した学費その他の納入金は返還しない。ただし、入学時の学費については、本人及び保証人の連署で所定の期間内に入学辞退の申し出のあった者に限り入学金以外の納入金を返還する。

第46条 休学を許可された者に対しては、授業料等の学費を免除する。

第47条 授業料等の学費を納めない者は、納めた後でなければ試験を受けることができない。

第48条 実験、実習等に必要な費用は別に徴収する。

第 8 章 賞 罰

第49条 本学学生中品行方正、学業優秀な者は、授業料を免除し、あるいは奨学金を貸与または給与があることがある。

第50条 本学に在学する者で本学の学則および規則に反し、または学生の本分にもとり本学の名誉を毀損する行為ある者および成業の見込みのない者は、教授会の議を経て学長がこれを懲戒する。

- 2 懲戒は、譴責、謹慎、停学および退学とする。ただし、退学は、次の各号の1に該当する者

についてのみ行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
 - (3) 正当の理由がなく出席常でない者
 - (4) 学校の秩序を乱しその本分に反した者
- 3 学生の懲戒の手続については別に定める。

第 9 章 職員組織その他

第51条 本学に学長、副学長、学部長、学科長、附属図書館長を置く。

- 2 学長、副学長、附属図書館長の職務は別に定める。
- 3 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。
- 4 学科長は、学科に関する校務をつかさどる。

第51条の2 本学に教授、准教授、講師、助教、助手、図書館司書および事務職員を置く。

第51条の3 本学に特任教員を置く。

- 2 特任教員の職務については別に定める。

第52条 本学に大学評議会（以下「評議会」という。）を置く。

- 2 評議会は、学長が招集し、その議長となる。
- 3 評議会は、大学、短期大学部および研究科に関し、次に掲げる事項について審議する。
 - (1) 学事に関する重要事項
 - (2) 学生の身上に関する事項
 - (3) 学則その他重要な規則の制定又は改廃に関する事項
 - (4) 大学予算の原案に関する事項
 - (5) その他、学長の諮問事項

- 4 評議会に関する規程は、別に定める。

第52条の2 各学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、教授、准教授および講師をもって構成する。
- 3 教授会は、次に掲げる事項について審議し、学長がそれらの事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
 - (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
 - (2) 学位の授与
 - (3) 教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの
- 4 教授会は、次に掲げる事項について審議し、学長に対して意見を述べることができる。
 - (1) 教授、准教授、講師、助教および助手の任用、昇任の際の教育研究業績に関する事項
 - (2) 学部学科の教育課程に関する事項
 - (3) 授業科目の種類および編成に関する事項
 - (4) 各種委員の選出に関する事項
 - (5) 学術研究に関する事項
 - (6) 学生の学籍に関する事項

ただし、前項で規定する事項を除く

- (7) 学生の賞罰に関する事項
 - (8) その他教育研究に関する事項および学長からの諮問事項
- 5 前項で規定される事項について、教授会が長期に亘り開催されないことで、学生に不利益が生ずる場合は、必ずしも教授会の議を経ることなく、学長はこれを決定することができる。
- 6 学部教授会に関する規程は、別に定める。

第 10 章 図 書 館

第53条 本学に図書館を置く。

- 2 図書館の規則は、別に定める。

附 則

1. 昭和31年4月1日一部改正

本学則は昭和31年4月1日からこれを適用する。但し昭和30年度以前の入学者については、従前の学則による。

2. 昭和35年4月1日一部改正

本学則は昭和35年4月1日からこれを適用する。但し昭和34年度以前の入学者については、従前の学則によるが教育職員免許状を取得する者は本学則による。

3. 昭和36年4月1日一部改正

本学則は昭和36年4月1日からこれを適用する。但し昭和35年度以前の入学者については、従前の学則によるが教育職員免許状を取得する者は本学則による。

4. 昭和37年4月1日一部改正

本学則は昭和37年4月1日からこれを適用する。但し昭和36年度以前の入学者については、従来の学則によるが教育職員免許状を取得する者は本学則による。

5. 昭和39年4月1日一部改正

本学則は昭和39年4月1日からこれを適用する。但し昭和38年度以前の入学者については、従来の学則による。

6. 昭和40年4月1日一部改正

本学則は昭和40年4月1日からこれを適用する。但し昭和39年度以前の入学者については、従来の学則による。

7. 昭和41年4月1日一部改正

本学則は昭和41年4月1日からこれを適用する。

8. 昭和42年4月1日一部改正

本学則は昭和42年4月1日からこれを適用する。ただし第2条・第11条・第13条ならびに第36条については昭和41年4月1日からこれを適用する。

9. 昭和43年4月1日一部改正

本学則は昭和43年4月1日からこれを適用する。ただし第2条・第11条・第13条ならびに第36条については昭和41年4月1日からこれを適用する。

10. 昭和44年4月1日一部改正

本学則は昭和44年4月1日からこれを適用する。ただし第2条・第11条・第13条ならび

に第36条については昭和41年4月1日からこれを適用する。

11. 昭和46年4月1日一部改正

本学則は昭和47年4月1日からこれを適用する。ただし「別表第3」英米文学科専門教育科目中英語学関係科目的単位数については、昭和42年4月1日よりこれを適用する。

12. 昭和47年4月1日一部改正

本学則は昭和47年4月1日からこれを適用する。

13. 昭和48年4月1日一部改正

本学則は昭和48年4月1日からこれを適用する。

14. 昭和49年4月1日一部改正

本学則は昭和49年4月1日からこれを適用する。

15. 昭和50年4月1日一部改正

本学則は昭和49年4月1日からこれを適用する。

16. 昭和51年4月1日一部改正

本学則は昭和51年4月1日からこれを適用する。

17. 昭和52年4月1日一部改正

本学則は昭和52年4月1日からこれを適用する。

18. 昭和53年4月1日一部改正

本学則は昭和53年4月1日からこれを適用する。ただし授業科目およびその単位数、ならびに授業料は、昭和52年度以前の入学生についてはなお従前の学則を適用する。

19. 昭和54年4月1日一部改正

本学則は昭和54年4月1日からこれを適用する。ただし授業科目およびその単位数、ならびに授業料は、昭和53年度以前の入学生についてはなお従前の学則を適用する。

20. 昭和56年4月1日一部改正

本学則は昭和56年4月1日からこれを適用する。ただし授業科目およびその単位数、ならびに授業料は、昭和55年度以前の入学生についてはなお従前の学則を適用する。

21. 昭和57年4月1日一部改正

本学則は昭和57年4月1日からこれを適用する。ただし、授業科目およびその単位数ならびに授業料は、昭和56年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。

22. 昭和60年4月1日一部改正

本学則は昭和60年4月1日からこれを適用する。ただし、授業科目およびその単位数ならびに授業料は、昭和59年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。

23. 昭和62年4月1日一部改正

本学則は昭和62年4月1日からこれを適用する。ただし、授業科目およびその単位数ならびに授業料は、昭和61年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。

24. 昭和63年4月1日一部改正

本学則は昭和63年4月1日からこれを適用する。ただし、授業科目および単位数は、昭和62年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。

25. 平成元年4月1日一部改正

本学則は平成元年4月1日からこれを適用する。ただし、昭和63年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。

26. 平成2年4月1日一部改正

本学則は平成2年4月1日からこれを適用する。ただし、平成元年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。

27. 平成3年4月1日一部改正

本学則は平成3年4月1日からこれを適用する。ただし、平成2年度以前の入学生については、第12条、第24条および第30条の規定を除き、なお従前の学則を適用する。

28. 平成4年4月1日一部改正

本学則は平成4年4月1日からこれを適用する。ただし、平成3年度以前の入学生については、従前の入学年度の学則を適用する。

29. 平成5年4月1日一部改正

本学則は平成5年4月1日から施行する。ただし、平成4年度以前の入学生の授業科目、単位数、授業料ならびに第13条に規定する既修得単位の認定については、なお従前の入学年度の学則を適用する。

30. 平成6年4月1日一部改正

本学則は平成6年4月1日から施行する。ただし、平成5年度以前の入学生の授業科目、単位数、入学金および授業料等の学費については、なお従前の入学年度の学則を適用する。

31. 平成7年4月1日一部改正

本学則は平成7年4月1日から施行する。ただし、平成6年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。

32. 平成8年4月1日一部改正

本学則は平成8年4月1日から施行する。ただし、授業科目およびその単位数ならびに卒業に要する単位数は、平成7年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。

33. 平成9年4月1日一部改正

本学則は平成9年4月1日から施行する。ただし、授業科目およびその単位数ならびに卒業に要する単位数は、平成8年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。

34. 平成10年4月1日一部改正

本学則は平成10年4月1日から施行する。ただし、別表第6（図書館学に関する科目）以外の授業科目およびその単位数ならびに卒業に要する単位数は、平成9年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。

35. 平成11年4月1日一部改正

本学則は平成11年4月1日から施行する。ただし、別表第6（図書館学に関する科目）以外の授業科目およびその単位数ならびに卒業に要する単位数は、平成10年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。

36. 平成12年4月1日一部改正

本学則は平成12年4月1日から施行する。ただし、平成11年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。

英米文学科の学科名称を英語英米文学科に変更する。

37. 平成12年4月1日一部改正

本学則は平成12年4月1日から施行する。ただし、平成11年度以前の入学生については、第12条、第12条の2および第13条の規定を除き、なお従前の入学年度の学則を適用する。

38. 平成13年4月1日一部改正

本学則は平成13年4月1日から施行する。ただし、平成12年度以前の入学生については、

なお従前の入学年度の学則を適用する。また、第15条の規定にかかわらず、食物学科食物学専攻および食物学科管理栄養士専攻の収容定員は次のとおりとする。

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
食物学科食物学専攻	205名	210名	210名	210名
食物学科管理栄養士専攻	260名	320名	370名	420名

39. 平成13年4月1日一部改正

本学則は平成13年4月1日から施行する。ただし、平成12年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。

40. 平成14年4月1日一部改正

本学則は平成14年4月1日から施行する。ただし、平成13年度以前の入学生については、授業科目およびその単位数ならびに卒業に要する単位数は、なお従前の入学年度の学則を適用する。

41. 平成15年4月1日一部改正

本学則は平成15年4月1日から施行する。ただし、平成14年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。

42. 平成15年4月1日一部改正

本学則は平成15年4月1日から施行する。ただし、平成14年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。

国文学科の学科名称を日本語日本文学科に変更する。

43. 平成15年4月1日一部改正

本学則は平成15年4月1日から施行する。ただし、平成14年度以前の入学生については、第6条、第44条、第46条、第51条および第52条の規定を除き、なお従前の入学年度の学則を適用する。また、第15条の規定にかかわらず人間社会学科の収容定員および収容定員の合計は次のとおりとする。

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
人間社会学科	100名	200名	300名	400名
計	1,980名	2,130名	2,230名	2,330名

44. 平成16年4月1日一部改正

本学則は平成16年4月1日から施行する。ただし、第32条の3の規定を除き、なお従前の入学年度の学則を適用する。

45. 平成17年4月1日一部改正

本学則は平成17年4月1日から施行する。ただし、平成16年度以前の入学生については、授業科目およびその単位数ならびに卒業に要する単位数は、なお従前の入学年度の学則を適用する。

また、第15条の規定に拘わらず、日本語日本文学科、英語英米文学科、人間社会学科の収容定員および収容定員の合計は次のとおりとする。

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
日本語日本文学科	660名	640名	620名
英語英米文学科	640名	630名	620名
人間社会学科	200名	310名	420名
計	2,130名	2,210名	2,290名

46. 平成18年4月1日一部改正

本学則は平成18年4月1日から施行する。ただし、平成17年度以前の入学生については、授業科目およびその単位数ならびに卒業に要する単位数は、なお従前の入学年度の学則を適用する。

47. 平成19年4月1日一部改正

本学則は平成19年4月1日から施行する。ただし、平成18年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。

48. 平成20年4月1日一部改正

本学則は平成20年4月1日から施行する。ただし、平成19年度以前の入学生については、第9条、第11条の3、第24条の2、第25条、第27条、第30条、第32条の規定を除き、なお従前の入学年度の学則を適用する。

英語英米文学科の学科名称を英語文化コミュニケーション学科に変更する。

平成20年度より学芸学部人間社会学科、食物学科の学生募集を停止する。

また、第15条の規定にかかる収容定員および収容定員の合計は次のとおりとする。

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
学芸学部				
日本語日本文学科	600名	580名	560名	540名
英語文化コミュニケーション学科	610名	600名	595名	590名
人間社会学科	320名	220名	110名	-
食物学科食物学専攻	160名	110名	55名	-
食物学科管理栄養士専攻	320名	220名	110名	-
子ども教育学科	100名	200名	300名	400名
メディア情報学科	95名	190名	295名	400名
人間社会学部				
社会マネジメント学科	140名	280名	440名	600名
人間心理学科	110名	220名	350名	480名
栄養科学部				
健康栄養学科	80名	160名	248名	336名
管理栄養学科	100名	200名	310名	420名
合計	2,635名	2,980名	3,373名	3,766名

49. 平成21年3月12日一部改正

平成21年4月1日から施行する。

50. 平成22年3月18日一部改正

平成22年4月1日から施行する。ただし、平成21年度以前の入学生については、第3条および第40条第2項の規定を除き、なお従前の入学年度の学則を適用する。

51. 平成22年10月21日一部改正

平成23年4月1日から施行する。ただし、平成22年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。

52. 平成24年2月9日一部改正

平成24年4月1日から施行する。ただし、同学則第11条第2項第6号の規定を除き、平成23年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。

53. 平成24年9月27日一部改正

平成25年4月1日から施行する。ただし、同学則第11条第2項第6号の規定を除き、平成24年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。

54. 平成25年2月28日一部改正

平成25年4月1日から施行する。ただし、平成24年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。また、第15条の規定にかかわらず収容定員および収容定員の合計は次のとおりとする。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
学芸学部				
日本語日本文学科	535名	530名	530名	530名
英語文化コミュニケーション学科	560名	530名	510名	490名
子ども教育学科	400名	400名	400名	400名
メディア情報学科	380名	360名	345名	330名
生活デザイン学科	45名	90名	140名	190名
人間社会学部				
社会マネジメント学科	570名	540名	520名	500名
人間心理学科	480名	480名	480名	480名
栄養科学部				
健康栄養学科	336名	336名	336名	336名
管理栄養学科	420名	420名	420名	420名
合 計	3,726名	3,686名	3,681名	3,676名

55. 平成25年12月19日一部改正

平成26年4月1日から施行する。ただし、同学則第11条第2項第6号の規定を除き、平成25年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。

56. 平成26年2月27日一部改正

平成26年4月1日から施行する。ただし、同学則第11条第2項第6号の規定を除き、平成25年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。

57. 平成26年3月20日一部改正

平成26年4月1日から施行する。ただし、同学則第11条第2項第6号の規定を除き、平成25年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。

58. 平成27年2月26日一部改正

平成27年4月1日から施行する。ただし、同学則第11条第2項第13号の規定を除き、平成26年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。また、第15条の規定にかかわらず、子ども教育学科、人間心理学科の収容定員および収容定員の合計は次のとおりとする。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
学芸学部			
子ども教育学科	407名	414名	416名
小 計	1,932名	1,954名	1,956名
人間社会学部			
人間心理学科	472名	464名	464名
小 計	992名	964名	964名

合 計	3,680名	3,674名	3,676名
59. 平成 28 年 2 月 25 日一部改正			
平成28年4月1日から施行する。ただし、同学則第11条第2項第13号の規定を除き、平成27年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。			
60. 平成29年12月21日一部改正、平成30年4月1日から施行する。ただし、第46条の規定を除き、平成29年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。			
61. 平成30年2月22日一部改正			
平成30年4月1日から施行する。ただし、第46条の規定を除き、平成29年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。			
62. 平成30年9月27日一部改正			
平成31年4月1日から施行する。ただし、第46条の規定を除き、平成30年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。			
63. 平成31年2月28日一部改正			
平成31年4月1日から施行する。ただし、第11条第2項第19号および第46条の規定を除き、平成30年度の入学生については、なお従前の学則を適用する。また、第46条の規定を除き、平成29年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。			
64. 令和元年12月19日一部改正			
令和2年4月1日から施行する。ただし、第11条第2項第19号および第46条の規定を除き、平成30年度の入学生については、なお従前の学則を適用する。また、第46条の規定を除き、平成29年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。			
65. 令和2年2月27日一部改正			
令和2年4月1日から施行する。ただし、令和元年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。また、第46条については、本改正後の規定を適用、別表第11（一級・二級建築士試験指定科目）および別表第16（社会福祉士国家試験の受験資格に関する科目）については、平成28年度以降の入学生より本改正後の規定を適用、さらに別表第18（公認心理師国家試験の受験資格に関する科目）については、平成30年度以降の入学生より本改正後の規定を適用する。			
66. 令和2年10月29日一部改正			
令和3年4月1日から施行する。ただし、令和2年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。また、第46条については、本改正後の規定を適用、別表第18（公認心理師国家試験の受験資格に関する科目）については、平成30年度以降の入学生より本改正後の規定を適用する。			
67. 令和2年12月17日一部改正			
令和3年4月1日から施行する。ただし、令和2年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。また、第46条については、本改正後の規定を適用、別表第18（公認心理師国家試験の受験資格に関する科目）については、平成30年度以降の入学生より本改正後の規定を適用する。			
68. 令和3年2月25日一部改正			
令和3年4月1日から施行する。ただし、令和2年度以前の入学生については、別表第18（公認心理師国家試験の受験資格に関する科目）を除き、なお従前の入学年度の学則を適用する。			
69. 令和3年3月17日一部改正			

令和3年4月1日から施行する。ただし、令和2年度以前の入学生については、別表第18（公認心理師国家試験の受験資格に関する科目）を除き、なお従前の入学年度の学則を適用する。

70. 令和3年7月29日一部改正、令和4年4月1日から施行する。ただし、第9条の2および別表18（公認心理師国家試験の受験資格に関する科目）を除き、令和3年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。

71. 令和4年1月27日一部改正、令和4年4月1日から施行する。

72. 令和4年2月24日一部改正、令和4年4月1日から施行する。ただし、第9条の2および別表18（公認心理師国家試験の受験資格に関する科目）を除き、令和3年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。また、別表第12（インテリアプランナー登録資格に関する科目）については、令和3年度の入学生より本改正後の規定を適用する。

73. 令和5年2月22日一部改正、令和5年4月1日から施行する。令和4年度以前の入学生については、なお従前の入学年度の学則を適用する。ただし、別表第3のうち、教育の基礎的理解に関する科目等（小）および教育の基礎的理解に関する科目等（中高）については、令和4年度の入学生より本改正後の規定を適用する。

74. 令和5年3月23日一部改正

本学則は令和6年4月1日から施行する。ただし、令和5年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。また、第15条の規定にかかわらず収容定員および収容定員の合計は次のとおりとする。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
学芸学部				
日本語日本文学科	510名	490名	470名	450名
英語文化コミュニケーション学科	480名	470名	460名	450名
子ども教育学科	416名	416名	416名	416名
メディア情報学科	345名	360名	375名	390名
生活デザイン学科	190名	190名	190名	190名
人間社会学部				
社会マネジメント学科	490名	480名	470名	460名
人間心理学科	474名	484名	492名	500名
栄養科学部				
健康栄養学科	336名	336名	336名	336名
管理栄養学科	420名	420名	420名	420名
合 計	3,661名	3,646名	3,629名	3,612名

別表第1 全学共通科目

学部学科	授業科目	単位	備考
学芸学部	全学共通科目		
日本語日本文学科	基礎共通科目		
英語文化コミュニケーション学科	さがみ総合講座Ⅰ	2	必修
子ども教育学科	さがみ総合講座Ⅱ	2	必修
メディア情報学科	基礎教育講座	2	必修
生活デザイン学科	共通教養科目		
人間社会学部	教養科目群（人文科学）		
社会マネジメント学科	哲学	2	
人間心理学科	倫理学	2	
栄養科学部	音楽	2	
健康栄養学科	美術	2	
管理栄養学科	書道	2	
	文学	2	
	言語学	2	
	文化人類学	2	
	臨床心理学入門	2	
	教養科目群（自然科学）		
	数理の科学	2	
	生命の科学	2	
	宇宙の科学	2	
	行動の科学	2	
	生活の科学	2	
	栄養の科学	2	
	基礎統計学	2	
	情報ネットワーク論	2	
	情報システム論	2	
	情報処理概論	2	
	教養科目群（社会科学）		
	法学	2	
	日本国憲法	2	
	社会福祉行政論	2	
	経済学	2	
	社会学	2	
	現代教育論	2	
	メディアと文化	2	
	日本の社会と文化	2	
	諸外国の社会と文化	2	
	健康・スポーツ科目群		
	健康管理	2	
	身体の科学	2	
	球技スポーツ	1	
	ラケットスポーツ	1	
	健康スポーツ	1	
	シーズンスポーツ	1	
	社会人基礎力向上科目群		
	数理リテラシー	2	
	言語リテラシー	2	
	情報リテラシーⅠ	1	
	情報リテラシーⅡ	1	
	キャリア・プランニング	2	
	ビジネス実務総論	2	

別表第1 全学共通科目

学部学科	授業科目	単位	備考
学芸学部	語学科目		
日本語日本文学科	英語I	1	
英語文化コミュニケーション学科	英語II	1	
子ども教育学科	英語III	1	
メディア情報学科	英語IV	1	
生活デザイン学科	中国語I	1	
	中国語II	1	
人間社会学部	中国語III	1	
社会マネジメント学科	中国語IV	1	
人間心理学科	韓国／朝鮮語I	1	
栄養科学部	韓国／朝鮮語II	1	
健康栄養学科	韓国／朝鮮語III	1	
管理栄養学科	韓国／朝鮮語IV	1	
	フランス語I	1	
	フランス語II	1	
	フランス語III	1	
	ドイツ語I	1	
	ドイツ語II	1	
	ドイツ語III	1	
	イタリア語I	1	
	イタリア語II	1	
	スペイン語I	1	
	スペイン語II	1	
	海外語学集中講座I	2	
	海外語学集中講座II	2	
	海外語学集中講座III	2	
	日本語I	1	
	日本語II	1	
実践科目			
	地域協働活動	1	
	さがみ発想講座	2	
	ビジネスのための経済・経営学	2	
	問題発見・解決型プロジェクト実践I	1	
	問題発見・解決型プロジェクト実践II	1	
	計	117	

別表第2 専門教育科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
学芸学部 日本語日本文学科	専門教育科目 基礎科目A 文章表現 古典文学講読 I 古典文学講読 II 近現代文学講読 I 近現代文学講読 II 日本語学概論 I (含音声言語学) 日本語学概論 II	2 2 2 2 2 2 2 2	必修 必修 必修 必修 必修 必修 必修
	基礎科目B 近現代文学講読 III 近現代文学講読 IV 現代文化論 1 現代文化論 2 現代文化論 3 文学と文化の理論 中国古典講読 I 中国古典講読 II 古典文学講読 III 古典文学講読 IV 古典芸能 伝統文化論 出版文化論 メディア文化論 日本文学史 I (古典) 日本文学史 II (近現代) 日本語古典文法 現代日本語文法 文章能力講座 書写・書道 I 書写・書道 II 朗読	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1	12単位必修
	演習科目 基礎演習 I 基礎演習 II 専門演習 I 専門演習 II 卒業研究・卒業制作 I 卒業研究・卒業制作 II	2 2 2 2 3 3	必修 必修 必修 必修 必修 必修
	研究科目 現代文化研究 1 現代文化研究 2 近現代文学研究 1 近現代文学研究 2 近現代文学研究 3 近現代文学研究 4 近現代文学研究 5 近現代文学研究 6 近現代文学研究 7 近現代文学研究 8 伝統文化研究 1 伝統文化研究 2 古典文学研究 1 古典文学研究 2 古典文学研究 3 古典文学研究 4 古典文学研究 5 古典文学研究 6 古典文学研究 7 古典文学研究 8	2 2	16単位必修

別表第2 専門教育科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
学芸学部	メディア文化研究1	2	
日本語日本文学科	メディア文化研究2	2	
	日本語研究1	2	
	日本語研究2	2	
	日本語研究3	2	
	日本語研究4	2	
	日本語研究5	2	
	日本語研究6	2	
	展開科目		
	映像と文学	2	
	サブカルチャー論	2	
	児童文学	2	
	情報と日本文学	2	
	創作実習1	1	
	創作実習2	1	
	創作実習3	1	
	創作実習4	1	
	伝統文化実習I	1	
	伝統文化実習II	1	
	書道史I	2	
	書道史II	2	
	書論・鑑賞I	2	
	書論・鑑賞II	2	
	書誌学	2	
	古文書学	2	
	図書館概論	2	
	図書館情報資源概論	2	
	出版流通論	2	
	編集実務	2	
	古文教材特講	2	
	漢文教材特講	2	
	小説教材特講	2	
	評論教材特講	2	
	日本語史I	2	
	日本語史II	2	
	日本語教授法I	2	
	日本語教授法II	2	
	日本語教授法III	2	
	日本語教授法IV	2	
	日本語授業研究	2	
	対照言語学	2	
	日本語コミュニケーション論	2	
	書道実習I(楷書・含書写)	1	
	書道実習II(行書・含書写)	1	
	書道実習III(草書)	1	
	書道実習IV(隸書)	1	
	書道実習V(篆書)	1	
	書道実習VI(篆刻)	1	
	書道実習VII(かな1)	1	
	書道実習VIII(かな2)	1	
	書道実習IX(漢字かな交じり1)	1	
	書道実習X(漢字かな交じり2)	1	
	書道実習XI(作家・作品1)	1	
	書道実習XII(作家・作品2)	1	
	国語科教育法(中)I	2	
	国語科教育法(中)II	2	
	国語科教育法(中・高)I	2	
	国語科教育法(中・高)II	2	
	書道科教育法I	2	
	書道科教育法II	2	
	計	209	

別表第2 専門教育科目

別表第2 専門教育科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
学芸学部 英語文化コミュニケーション学科	イギリス文学特別講義	2	
	アメリカ文学特別講義	2	
	言語教育		
	英語学概論	2	
	応用言語学	2	
	英語科教育法（中）I	2	
	英語科教育法（中）II	2	
	英語科教育法（中・高）I	2	
	英語科教育法（中・高）II	2	
	観光ビジネス科目		
	観光学基礎		
	観光学概論	2	
	ホスピタリティ概論	2	
	旅行業概論	2	
	観光地理学	2	
	観光ビジネス論	2	
	観光学専門		
	観光学特別講義I	2	
	観光学特別講義II	2	
	観光学特別講義III	2	
	観光事業特別講義	2	
	観光交通論	2	
	マーケティング論	2	
	消費者行動論	2	
	マネジメント論	2	
	ホスピタリティマネジメント	2	
	マーケティングリサーチ	2	
	観光学特別演習	1	
	グローバル実践科目		
	Pre/Post Study Abroad	1	
	インターンシップ教育I	1	
	インターンシップ教育II	1	
	ビジネス・プレゼンテーションI	1	
	ビジネス・プレゼンテーションII	1	
	キャリアデザイン実践	1	
	海外英語研修I	1	
	海外英語研修II	1	
	海外英語研修III	1	
	海外英語研修IV	1	
	長期英語留学I	6	
	長期英語留学II	6	
	長期英語留学III	12	
	特別語学研修	2	
	ボランティア研修I	1	
	ボランティア研修II	2	
	短期インターンシップI	1	
	短期インターンシップII	1	
	インターンシップI	2	
	インターンシップII	2	
	インターンシップIII	2	
	インターンシップIV	2	
	インターンシップV	4	
	学校インターンシップI	1	
	学校インターンシップII	1	
	計	177	

別表第2 専門教育科目

別表第2 専門教育科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
学芸学部	聴覚・言語障害児の理解と指導法	1	
子ども教育学科	子どもの教育とメディア	2	
	子ども・家庭支援		
	社会福祉	2	
	社会的養護Ⅰ（原理）	2	
	社会的養護Ⅱ（内容）	1	
	子育て支援	1	
	子どもの健康と安全	1	
	子どもの食事と栄養	2	
	保育内容総論	1	
	子どもと健康	2	
	保育内容指導法（健康）	1	
	子どもと人間関係	2	
	保育内容指導法（人間関係）	1	
	子どもと環境	2	
	保育内容指導法（環境）	1	
	子どもと言葉	2	
	保育内容指導法（言葉）	1	
	子どもと表現	2	
	保育内容指導法（表現）	1	
	子ども家庭支援論	2	
	知的障害児の心理	2	
	知的障害児の生理・病理	2	
	肢体不自由児の心理	2	
	肢体不自由児の生理・病理	2	
	病弱児の心理	2	
	病弱児の生理・病理	2	
	子育て支援実践研究	1	
発展科目			
	実践的指導力		
	教育コミュニケーション	1	
	実践遊び学	1	
	“楽”習教材研究（文系）	2	
	“楽”習教材研究（理系）	2	
	“楽”習活動研究（表現系）	2	
	“楽”習プロジェクト演習	1	
	教育指導法実践研究Ⅰ	1	
	教育指導法実践研究Ⅱ	1	
	保育指導法実践研究	1	
	保育・教職実践演習	2	
	教職実践演習（小学校）	2	
	子ども教育ゼミナールⅠ	2	
	子ども教育ゼミナールⅡ	2	
	卒業研究Ⅰ	2	
	卒業研究Ⅱ	2	
体験・活動・実習			必修
	教育インターンシップ（小学校）	1	
	教育インターンシップ（幼稚園）	1	
	保育実習指導Ⅰ（保育所）	1	
	保育実習指導Ⅰ（施設）	1	
	保育実習指導Ⅱ（保育所）	1	
	保育実習指導Ⅲ（施設）	1	
	保育実習Ⅰ（保育所）	2	
	保育実習Ⅰ（施設）	2	
	保育実習Ⅱ（保育所）	2	
	保育実習Ⅲ（施設）	2	
	教育実習Ⅰ①（幼稚園）事前・事後指導	1	
	教育実習Ⅰ②（幼稚園）	2	
	教育実習Ⅱ①（幼稚園）	1	
	教育実習Ⅱ②（小学校）事前・事後指導	1	
	教育実習Ⅲ①（小学校）	2	
	教育実習Ⅲ②（小学校）	2	
	教育実習Ⅳ③（特別支援学校）事前・事後指導	1	
	教育実習Ⅳ④（特別支援学校）	2	
総合演習			必修
	子ども教育基礎演習Ⅰ	1	
	子ども教育基礎演習Ⅱ	1	
	子ども教育基礎演習Ⅲ	1	
	子ども教育特別演習Ⅰ	1	
	子ども教育特別演習Ⅱ	1	
	子ども教育特別演習Ⅲ	1	
	計	214	

別表第2 専門教育科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
学芸学部 メディア情報学科	専門教育科目		
	基礎科目		
	情報・メディア論	2	必修
	メディアの英語	2	必修
	アカデミックライティング	2	必修
	メディアと法	2	必修
	デジタルデザイン	2	必修
	情報社会論	2	必修
	メディア文化史	2	必修
	コンセプト構想論	2	必修
	デザイン概論	2	
	色彩文化論	2	
	ミュージアム概論	2	
	メディアアート概論	2	
	インターネットとビジネス	2	
	文章作法	2	
	デジタルプレゼンテーション演習	2	
	メディアアート演習	2	
	ポートフォリオ制作	2	
	基幹科目		
	人文		
	言語とメディア	2	
	多文化共生とメディア	2	
	モードとメディア	2	
	世界における日本文化	2	
	サブカルチャーとメディア	2	
	ポピュラー音楽論	2	
	映像史	2	
	アニメーション史	2	
	マンガ史	2	
	出版文化史	2	
	絵本文化論	2	
	ゲームメディア論	2	
	ミュージアム教育論	2	
	アーカイブ論	2	
	マンガ制作 I	2	
	社会		
	マスメディア論	2	
	メディアの行動と心理	2	
	広告とメディア	2	
	流通論	2	
	マーケティング論	2	
	情報管理論	2	
	知的財産と法 I	2	
	情報		
	電子メディア論	2	
	メディアデザイン	2	
	Webデザイン基礎	2	
	プログラミング基礎	2	
	3DCG基礎	2	
	サウンドデザイン基礎	2	
	ゲーム制作演習	2	
	エディトリアルデザイン基礎	2	
	写真技法	2	
	動画編集基礎	2	
	展開科目		
	人文		
	デジタルコミュニケーションと言語	2	
	言語文化論	2	
	パフォーマンスと言語	2	
	芸能文化論	2	
	パフォーマンスマディア論	2	
	モードと社会	2	
	メディア文化演習 I	2	
	メディア文化演習 II	2	

別表第2 専門教育科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
学芸学部			
メディア情報学科	エンターテインメント論	2	
	現代映像論	2	
	アニメーション論	2	
	マンガ論	2	
	雑誌文化論	2	
	ゲームメディア演習	2	
	アーカイブ管理論	2	
	生涯学習とメディア	2	
	空間プレゼンテーション論	2	
	ストーリーライティング	2	
	メディアライティング	2	
	声優の発声法と演技	2	
	マンガ制作II	2	
	博物館実習	3	
社会			
	ミュージアム経営論	2	
	コミュニケーション論	2	
	メディアコミュニケーション論	2	
	プロモーションとサービス	2	
	マネジメント論	2	
	データ分析演習	2	
	マーケティングリサーチ	2	
	情報環境論	2	
	知的財産と法II	2	
	情報セキュリティと法	2	
	メディアビジネスプロジェクトI	2	
	メディアビジネスプロジェクトII	2	
	広告制作演習	2	
	番組制作演習	2	
情報			
	ITマネジメント論	2	
	ネットワークセキュリティ論	2	
	情報通信ネットワーク論	2	
	情報通信ネットワーク演習	2	
	データベース論	2	
	データベース演習	2	
	プログラミング応用	2	
	プログラミング実践	2	
	3DCG応用	2	
	Webデザイン応用	2	
	Webデザイン実践	2	
	アプリケーション開発	2	
	サウンドデザイン応用	2	
	エディトリアルデザイン応用	2	
	エディトリアルデザイン実践	2	
	動画撮影	2	
	動画編集応用	2	
	ビジュアルエフェクト演習	2	
	アニメーション技法	2	
	情報科教育法I	2	
	情報科教育法II	2	
総合科目			
	メディアワークI	2	
	メディアワークII	2	
	メディアワークIII	2	
	プロジェクトワークI	2	
	プロジェクトワークII	2	
完成科目			
	ゼミナールI	2	必修
	ゼミナールII	2	必修
	卒業研究I	3	必修
	卒業研究II	3	必修
	計	233	

別表第2 専門教育科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
学芸学部 生活デザイン学科	専門教育科目 新領域創造科目 横断統合 デザインの入り口 デザイン概論 デザインワーク I-1 デザインワーク I-2 デザインワーク II-1 デザインワーク II-2 デザインワーク III-1 デザインワーク III-2 デザインプロジェクト I ゼミ デザインプロジェクト II デザインプロジェクト III	2 2 1 1 1 1 1 1 1 2 4 6	必修 必修
	生活デザイン総合科目 デザイン教養科目 デザイン史 I デザイン史 II イメージと言葉 環境学 スマートビジネス	2 2 2 2 2	
	基礎講義科目 色彩論 人間工学 ファブリック概論 空間デザインと環境 住宅デザインの歴史 造形心理 住宅計画 建築の歴史 ファッショングデザイン史 デザインビジネス	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	4単位必修
	基礎演習科目 デザイン基礎 空間構成 立体構成 グラフィックデザイン I グラフィックデザイン II ファッショングメイキング I ファッショングメイキング II 空間デザイン モデルメイキング I モデルメイキング II ディスプレイデザイン	2 2 1 2 2 2 2 1	8単位必修
	基礎技法科目 デジタルペインティング コンピュータスキル I コンピュータスキル II コンピュータスキル III コンピュータスキル IV プレゼンテーションスキル 3DCG演習 WEBスキル 素材実習(布・プリント) 素材実習(メタルワーク) CAD I CAD II CAD III アパレルCAD I アパレルCAD II 製図 I 製図 II デザインスケッチ 写真表現 ファッションドローイング テキスタイルデザイン	1 2 1 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 1 2 1 2	必修 6単位必修 必修 必修
			8単位必修 (必修科目は除く)
			必修

別表第2 専門教育科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
学芸学部	生活デザイン各論		
生活デザイン学科	建築デザイン I	2	
	建築デザイン II	2	
	建築デザイン III	2	
	インテリアデザイン I	2	
	インテリアデザイン II	2	
	建築構法演習	1	
	ファッショングループ I	2	
	ファッショングループ II	2	
	ファッショングループ III	2	
	プロダクトデザイン I	2	
	プロダクトデザイン II	2	
	プロダクトデザイン III	2	
	WEBデザイン I	2	
	WEBデザイン II	2	
	アートディレクション I	2	
	アートディレクション II	2	
	アートディレクション III	2	
	DTP	1	
	インターラクティブデザイン	2	
	空間デザインと材料	2	
	空間デザインと構造	2	
	空間デザインと構法	2	
	空間デザインと計画	2	
	空間デザインと設備	2	
	建築施工	2	
	建築法規	2	
	建築構造	2	
	資格支援科目		
	カラーコーディネイト演習	1	
	ファッショングループ演習	1	
	インテリアコーディネイト演習	1	
	福祉住環境演習	1	
	デザイン研修		
	デザインキャリア研修	2	必修
	デザイン見学	1	
	デザインインターナーシップ	1	
	作品発表	1	
	デザインスキルアップ	1	
	計	166	

別表第2 専門教育科目

別表第2 専門教育科目

別表第2 専門教育科目

別表第2 専門教育科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
人間社会学部	社会保障法Ⅱ	2	
人間心理学科	高齢者福祉	2	
	障害者福祉	2	
	児童・家庭福祉	2	
	生活保護制度	2	
	保健医療と福祉	2	
	権利擁護を支える法制度	2	
	刑事司法と福祉	2	
	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2	
	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	2	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	2	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1	
	ソーシャルワーク実習Ⅰ	2	
	ソーシャルワーク実習Ⅱ	6	
	社会福祉士試験対策講座Ⅰ	2	
	社会福祉士試験対策講座Ⅱ	2	
	ソーシャルワーク演習（基礎）	1	
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ	1	
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ	2	
	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ	1	
完成科目			
	ゼミナールⅠ	2	必修
	ゼミナールⅡ	2	必修
	卒業研究Ⅰ	3	必修
	卒業研究Ⅱ	3	必修
	計	202	

別表第2 専門教育科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
栄養科学部	専門教育科目		
健康栄養学科	栄養士資格科目		
	公衆衛生学	2	必修
	社会福祉論	2	必修
	解剖生理学	2	必修
	解剖生理学実習	1	必修
	運動生理学	2	必修
	生化学	2	必修
	生化学実験	1	必修
	臨床医学	2	必修
	食品学総論	2	必修
	食品学各論	2	必修
	基礎化学実験	1	必修
	食品学実験Ⅰ	1	必修
	食品学実験Ⅱ	1	必修
	食品官能評価・鑑別演習	2	必修
	食品衛生学	2	必修
	食品衛生学実験	1	必修
	微生物学	2	必修
	栄養学総論Ⅰ	2	必修
	栄養学総論Ⅱ	2	必修
	ライフステージの栄養学Ⅰ	2	必修
	ライフステージの栄養学Ⅱ	2	必修
	ライフステージの栄養学実習	1	必修
	運動栄養学	2	必修
	臨床栄養学Ⅰ	2	必修
	臨床栄養学Ⅱ	2	必修
	臨床栄養学実習	1	必修
	公衆栄養学	2	必修
	栄養士入門	2	必修
	栄養指導論	2	必修
	栄養士基礎実習	1	必修
	栄養指導論実習	1	必修
	給食管理論	2	必修
	給食管理演習	2	必修
	給食管理実習（校内）	2	必修
	給食管理実習（校外）	1	必修
	校外実習事前事後指導	1	必修
	調理学	2	必修
	調理科学演習	2	必修
	調理学実習Ⅰ	1	必修
	調理学実習Ⅱ	1	必修

別表第2 専門教育科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
栄養科学部	学科専門科目		
健康栄養学科	有機化学	2	必修
	スポーツ栄養学	2	
	スポーツ栄養学実習	1	
	健康運動指導論	2	
	健康運動指導論実習	1	
	食育プラクティス	2	
	製菓実習	1	必修
	食品加工学実習	1	
	試験対策講座Ⅰ	1	必修
	試験対策講座Ⅱ	1	必修
	試験対策講座Ⅲ	1	必修
	試験対策講座Ⅳ	1	必修
	試験対策講座Ⅴ	1	必修
	ゼミナールⅠ	1	必修
	ゼミナールⅡ	1	必修
	卒業研究Ⅰ	2	
	卒業研究Ⅱ	2	
	キャリア形成プラクティス (インターンシップを含む)	1	
	副資格科目		
	FS資格科目		
	食品機能論	2	
	フードスペシャリスト論	2	
	フードコーディネート論	2	
	フードコーディネート論実習	1	必修
	消費者商品学	2	
	消費経済学	2	
	教免資格科目		
	学校栄養教諭論	2	
	学校食育指導論	2	
	家族関係	2	
	家庭経営 (家庭経済学を含む)	2	
	衣生活論 (衣料学を含む)	2	
	被服構成 (被服製作実習を含む) Ⅰ	1	
	被服構成 (被服製作実習を含む) Ⅱ	1	
	住生活論	2	
	住居学 (製図を含む)	2	
	保育学 (実習および家庭看護を含む)	2	
	家庭機械および家庭電気	2	
	コンピューター概論・演習	2	
	消費者問題論	2	
	家庭科教育法 (中) Ⅰ	2	
	家庭科教育法 (中) Ⅱ	2	
	家庭科教育法 (中・高) Ⅰ	2	
	家庭科教育法 (中・高) Ⅱ	2	
	計	133	

別表第2 専門教育科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
栄養科学部 管理栄養学科	専門教育科目		
	基礎導入科目		
	食べ物の基礎	1	
	栄養の基礎	2	
	基礎科学実験	1	
	微生物学	2	
	専門基礎分野		
	社会・環境と健康		
	公衆衛生学Ⅰ	2	必修
	公衆衛生学Ⅱ	2	必修
	保健統計学実習	1	必修
	保健介護福祉論	2	必修
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち		
	生化学Ⅰ	2	必修
	生化学Ⅱ	2	必修
	生化学実験	1	必修
	解剖生理学Ⅰ	2	必修
	解剖生理学Ⅱ	2	必修
	解剖生理学実習	1	必修
	臨床医学Ⅰ	2	必修
	臨床医学Ⅱ	2	必修
	臨床検査実習	1	必修
	「身体活動」の生理学	2	必修
	食べ物と健康		
	食品学総論	2	必修
	食品学各論	2	必修
	食品学実験Ⅰ	1	必修
	食品学実験Ⅱ	1	必修
	調理科学	2	必修
	調理学実習	1	必修
	応用調理学実習	1	必修
	調理科学実験	1	必修
	食品衛生学	2	必修
	食品衛生学実験	1	必修
	専門分野		
	基礎栄養学		
	基礎栄養学	2	必修
	基礎栄養学実験	1	必修
	応用栄養学		
	応用栄養学Ⅰ	2	必修
	応用栄養学Ⅱ	2	必修
	応用栄養学実習	1	必修
	食事摂取基準論	2	必修
	栄養ケアマネジメント実習	1	必修
	栄養教育論		
	栄養教育論Ⅰ	2	必修
	栄養教育論Ⅱ	2	必修
	栄養教育実践活動論	2	必修
	栄養教育実習	1	必修

別表第2 専門教育科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
栄養科学部	臨床栄養学		
管理栄養学科	臨床栄養管理学Ⅰ	2	必修
	臨床栄養管理学Ⅱ	2	必修
	臨床栄養管理学Ⅲ	2	必修
	病態栄養治療学演習	2	必修
	臨床栄養管理実習	1	必修
	食事療法実習	1	必修
公衆栄養学			
	公衆栄養学Ⅰ	2	必修
	公衆栄養学Ⅱ	2	必修
	公衆栄養学実習	1	必修
給食経営管理論			
	給食経営管理論Ⅰ	2	必修
	給食経営管理論Ⅱ	2	必修
	給食経営管理実習	2	必修
総合演習			
	管理栄養士演習Ⅰ	1	必修
	管理栄養士演習Ⅱ	1	必修
	管理栄養士演習Ⅲ	1	必修
	管理栄養士演習Ⅳ	1	
	管理栄養士演習Ⅴ	2	必修
臨地実習			
	臨地実習Ⅰ (給食の運営)	1	必修
	臨地実習Ⅱ (臨床栄養学)	2	
	臨地実習Ⅲ (公衆栄養学)	1	
専門発展分野			
実践実習科目			
	応用食事療法実習	1	
	福祉栄養管理実習	1	
	フードマネジメント実習	1	
	フードサービスマネジメント実習	1	
	地域保健活動実習	1	
	地域の食・健康活動実習	1	
共通選択科目			
	卒業研究Ⅰ	1	
	卒業研究Ⅱ	1	
	卒業研究Ⅲ	1	
	特別講義Ⅰ	2	
	特別講義Ⅱ	2	
	特別講義Ⅲ	2	
	特別講義Ⅳ	2	
	特別講義Ⅴ	2	
	特別講義Ⅵ	2	
	特別講義Ⅶ	2	
	特別講義Ⅷ	2	
栄養教諭選択科目			
	学校栄養教諭論	2	
	学校食育指導論	2	
	計	122	

別表第3 教育の基礎的理解に関する科目等(幼)

施行規則に定める科目区分等			本学における科目等					
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数		履修方法等		
				必	選			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育の原理	2				
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教育の歴史	2				
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教職論	2		1科目2単位必修		
	保育者論		教育の制度	2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		生涯発達心理学	2				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		教育心理学	2				
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		特別支援教育・保育I	1				
			特別支援教育・保育II	1				
			保育カリキュラム論	2		1科目2単位必修		
			教育課程論	2				
等指学道に導導習徳、関法のす教及時総する育び間合科相生等的目談徒のな	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育の方法	2				
	幼児理解の理論及び方法		子どもの理解と援助	2				
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	2				
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習I1(幼稚園)事前・事後指導	1				
			教育実習I2(小学校)事前・事後指導	1				
			教育実習II1(幼稚園)	2				
			教育実習II2(幼稚園)	1				
			教育実習III1(小学校)	2				
			教育実習III2(小学校)	2				
教職実践演習	教育インターンシップ(幼稚園)	2	教育インターンシップ(幼稚園)	1				
	保育・教職実践演習		保育・教職実践演習	2				
	教職実践演習(小学校)		教職実践演習(小学校)	2		1科目2単位必修		
指導法及び保育内容の指導法に関する科目	指導法及び保育内容の指導法に関する科目		保育内容総論	1				
			幼児指導論	2				
			保育内容指導法(健康)	1				
			保育内容指導法(人間関係)	1				
			保育内容指導法(環境)	1				
			保育内容指導法(言葉)	1				
			保育内容指導法(表現)	1				
			子どもの教育とメディア	2				
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項		健 康	2				
			人間関係	2				
			環 境	2				
			言 葉	2				
			表 現	2				
			子どもと表現 音楽表現活動 絵画・造形表現活動 運動・身体表現活動 実践遊び学	1				
領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目								
			計	39	25			

別表第3 教育の基礎的理解に関する科目等（小）

施行規則に定める科目区分等			本学における科目等			
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数		履修方法等
				必	選	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育の原理 教育の歴史 教職論 教育の制度	2	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		生涯発達心理学 教育心理学 特別支援教育・保育 I	2	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育課程論	1		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解					
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）					
等の徳、教育指導法的相談等及びな生徒の従事する指の時間	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育論 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育の方法及び技術	2		
	総合的な学習の時間の指導法		ICT教育実践研究	2		
	特別活動の指導法		生徒・進路指導	2		
	教育の方法及び技術		教育相談	2		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
	生徒指導の理論及び方法					
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法					
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習 I 1 (幼稚園) 事前・事後指導 教育実習 I 2 (小学校) 事前・事後指導 教育実習 II 1 (幼稚園) 教育実習 III 1 (小学校)	1		
			教育実習 III 2 (小学校) 教育インターンシップ(小学校)	2		
			教育実習 III 3 (小学校)	2		
			教育実習 III 4 (小学校)	1		
	学校体験活動		教職実践演習(小学校)	2		
科教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語 (書写を含む。)	教育内容(国語)	2		4科目8単位以上必修
		社会	教育内容(社会)	2		
		算数	教育内容(算数)	2		
		理科	教育内容(理科)	2		
		生活	教育内容(生活)	2		
		音楽	教育内容(音楽)	2		
		図画工作	教育内容(図画工作)	2		
		家庭	教育内容(家庭)	2		
		体育	教育内容(体育)	2		
		外国語	教育内容(英語)	2		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				
		国語 (書写を含む。)	国語科指導法	2		
		社会	社会科指導法	2		
		算数	算数科指導法	2		
		理科	理科指導法	2		
		生活	生活科指導法	2		
		音楽	音楽科指導法	2		
		図画工作	図画工作科指導法	2		
		家庭	家庭科指導法	2		
		体育	体育科指導法	2		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	外国語	英語科指導法	2		
		授業研究		2		
		教育指導法実践研究 I		1		
		教育指導法実践研究 II		1		
		計		53	30	

別表第3 特別支援教育に関する科目

免許法施行規則に定める 科目区分	単位数	本学における科目等		
		授業科目	単位数	
			必	選
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	特別支援教育論	2	
特別支援する教育科目領域に関する 科領域に領するら 域特れ免 関以別る許 す外支こ状 るの援とに 科領教と定 目域育なめ に領るら	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害児の心理	2	
		知的障害児の生理・病理	2	
		肢体不自由児の心理	2	
		肢体不自由児の生理・病理	2	
		病弱児の心理	2	
		病弱児の生理・病理	2	
		知的障害教育	2	
		肢体不自由教育	2	
		病弱教育	2	
		LD・ADHD等の理解と指導法	1	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒について の教育実習	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	重複障害児の理解と指導法	1	
		視覚障害児の理解と指導法	1	
		聴覚・言語障害児の理解と指導法	1	
		情緒障害児の理解と指導法	1	
		教育実習Ⅰ 3 (特別支援学校) 事前・事後指導 教育実習Ⅳ (特別支援学校)	1 2	
		計	28	

別表第3 教育の基礎的理解に関する科目等（中高）

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学授業科目				
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数		共通開設	履修方法等
				必	選		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育の原理	2		栄	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2		栄	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育の制度	2		栄	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2		栄	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	2		栄	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		カリキュラム論	1		栄	
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等に關する指導法及び教育相談の時間等に關する指導法	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育論	2		栄	中免のみ
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導	2		栄	
	特別活動の指導法		特別活動論	2		栄	
	教育の方法及び技術		教育方法論	1		栄	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報通信技術の活用	1			
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導	2		栄	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む。
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2		栄	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育実践科目に関する	教育実習	中5 高3	教育実習Ⅰ		4	中一種免については「教育実習Ⅰ」必修、高一種免については「教育実習Ⅰ」「教育実習Ⅱ」から1科目選択必修	
			教育実習Ⅱ		2		
			事前・事後指導		1		
	学校体験活動						
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2			
			計	25	6		

別表第4 教育の基礎的理解に関する科目等（栄養教諭）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学授業科目				
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目	単位数	共通開設 必選	履修方法等
				必		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	教育の原理	2	中・高	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2	中・高	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育の制度	2	中・高	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	中・高	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論	2	中・高	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		カリキュラム論	1	中・高	
内道 容徳、 及び総 に生合 関徒的 す指な る導、学 科、習 目教の 育時 相間 談等 等の	道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容	6	道徳教育論	2	中	
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		総合的な学習の時間の指導	2		
	生徒指導の理論及び方法		特別活動論	2	高	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育方法論	1	中・高	
			生徒・進路指導	2	中・高	
			教育相談	2	中・高	
に教 科開 育目す 実 る践	栄養教育実習	2	栄養教諭教育実習	1		
			栄養教諭教育実習事前・事後指導	1		
	教職実践演習	2	教職実践演習（栄養教諭）	2		
			計	26		

別表第5 図書館学に関する科目

学部学科	授業科目	単位数	備考		
			司書	司書教諭	学校司書
学芸学部 日本語日本文学科 英語文化コミュニケーション学科 子ども教育学科 但し子ども教育学科は司書教諭、学校司書科目に限る メディア情報学科	生涯学習概論	2	必修		
	図書館概論	2	必修		
	図書館制度・経営論	2	必修		
	図書館情報技術論	2	必修		
	図書館サービス概論	2	必修		
	情報サービス論	2	必修		
	児童サービス論	2	必修		
	情報サービス演習Ⅰ	1	必修		
	情報サービス演習Ⅱ	1	必修		
	図書館情報資源概論	2	必修		
	情報資源組織論Ⅰ	2	必修		
	情報資源組織論Ⅱ	2	必修		
	情報資源組織演習Ⅰ	1	必修		
	情報資源組織演習Ⅱ	1	必修		
	図書館基礎特論	2	選択必修4		
	図書館サービス特論Ⅰ	2			
	図書館サービス特論Ⅱ	2			
	図書館施設論	2			
	図書・図書館史	2			
	図書館実習（事前・事後の指導を含む）	2	必修		
	学校経営と学校図書館	2		必修	必修
	学校図書館メディアの構成	2		必修	
	学習指導と学校図書館	2		必修	必修
	読書と豊かな人間性	2		必修	
	情報メディアの活用	2		必修	必修
	学校図書館サービス論	2			必修
	学校図書館情報サービス論	2			必修
	学校教育概論	2			必修
計		52	30	10	22

別表第6 保育士に関する科目

学部学科	告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					授業時間(時間)	備考	
	系列	教科目	授業形態	開設単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	配当年次	単位数				
学芸学部 子ども教育学科		教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	さがみ総合講座 I	講義	1	2		6単位必修	
						さがみ総合講座 II	講義	1	2			
						基礎教育講座	講義	1	2			
						日本国憲法	講義	1		2		
			外国語	演習	2以上	英語 I	演習	1		1		
						英語 II	演習	1		1		
						英語 III	演習	1		1		
						英語 IV	演習	1		1		
						中国語 I	演習	1		1		
						中国語 II	演習	1		1		
						中国語 III	演習	1		1		
						中国語 IV	演習	1		1		
						韓国／朝鮮語 I	演習	1		1		
						韓国／朝鮮語 II	演習	1		1		
						韓国／朝鮮語 III	演習	1		1		
						韓国／朝鮮語 IV	演習	1		1		
						フランス語 I	演習	1		1		
						フランス語 II	演習	1		1		
						フランス語 III	演習	1		1		
						ドイツ語 I	演習	1		1	2単位必修	
						ドイツ語 II	演習	1		1		
						ドイツ語 III	演習	1		1		
						イタリア語 I	演習	1		1		
						イタリア語 II	演習	1		1	1単位必修	
						スペイン語 I	演習	1		1		
						スペイン語 II	演習	1		1		
						計		6	32			
			10単位以上			2 4 (≥ 10 単位)						

別表第6 保育士に関する科目

学部学科	告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等				授業時間(時間)	備考
	系列	教科目	授業形態	開設単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	配当年次	単位数		
								必修	選択	
学芸学部 子ども教育学科	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育の原理	講義	1	2		30
		教育原理	講義	2	教育の原理	講義	1	2		30
		子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	1	2		30
		社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2	2		30
		子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	2	2		30
		社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ(原理)	講義	2	2		30
		保育者論	講義	2	保育者論	講義	1	2		30
	保育の関する象の理解に	保育の心理学	講義	2	生涯発達心理学	講義	1	2		30
		子ども家庭支援の心理学	講義	2	子育て支援の心理学	講義	2	2		30
		子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	演習	2	2		30
		子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2	2		30
		子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食事と栄養	演習	3	2		30
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	保育カリキュラム論	講義	2	2		30
		保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	1	1		30
		保育内容演習	演習	5	保育内容指導法(健康)	演習	1	1		30
					保育内容指導法(人間関係)	演習	2	1		30
					保育内容指導法(環境)	演習	2	1		30
					保育内容指導法(言葉)	演習	2	1		30
					保育内容指導法(表現)	演習	3	1		30
		保育内容の理解と方法	演習	4	音楽表現活動	演習	2	1		30
					絵画・造形表現活動	演習	2	1		30
					運動・身体表現活動	演習	1	1		30
					保育表現活動	演習	3	1		30
		乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	1	2		30
		乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	2	1		30
		子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	3	1		30
		障害児保育	演習	2	特別支援教育・保育Ⅰ	演習	2	1		30
					特別支援教育・保育Ⅱ	演習	2	1		30
		社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ(内容)	演習	3	1		30
		子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	3	1		30
	保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ(保育所)	実習	3	2		90
					保育実習Ⅰ(施設)	実習	3	2		90
		保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ(保育所)	演習	3	1		30
					保育実習指導Ⅰ(施設)	演習	3	1		30
	総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習	演習	4	2		30
合計			51単位	計			52	0		
				52単位(≥51単位)						

別表第6 保育士に関する科目

学部学科	告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					授業時間(時間)	備考			
	系列	教科目	授業形態	開設単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	配当年次	単位数	必修	選択				
学芸学部 子ども教育学科	に質保 科関・育 目才目の 的本	各指定保育士 養成施設に おいて設定	1 5 単 位 以 上	教育とジェンダー 教育心理学 子どもの教育とメディア 保育指導法実践研究 幼児指導論 子育て支援実践研究 英語遊び指導法 音楽 I 音楽 II 音楽 III 音楽 IV 実践遊び学 手話の基礎 点字の基礎	教育とジェンダー	講義	3	2	30	13単位必修 (保育実習 2単位、保 育実習指導 1単位以上 含む)				
					教育心理学	講義	1	2	30					
					子どもの教育とメディア	講義	2	2	30					
					保育指導法実践研究	演習	3	1	30					
					幼児指導論	講義	3	2	30					
	の保 理育 る解の 科に 対 目 關象				子育て支援実践研究	演習	3	1	30					
					英語遊び指導法	演習	4	1	30					
					音楽 I	演習	1	1	30					
					音楽 II	演習	1	1	30					
					音楽 III	演習	2	1	30					
					音楽 IV	演習	2	1	30					
					実践遊び学	演習	1	1	30					
					手話の基礎	演習	2	1	30					
					点字の基礎	演習	2	1	30					
					合 計	18単位以上		計	5	19				
					24単位(≥18単位)									
保 育 実 習	保育実習 II	実習	2	保育実習 II (保育所)	実習	4	2	90	2単位必修	1単位必修				
	保育実習 III	実習	2	保育実習 III (施設)	実習	4	2	90						
	保育実習指導 II	演習	1	保育実習指導 II (保育所)	演習	4	1	30						
	保育実習指導 III	演習	1	保育実習指導 III (施設)	演習	4	1	30						
	合 計		18単位以上		24単位(≥18単位)									

注記: 児童福祉法施行規則第6条の2第1項第6号に基づき、保育士に関する演習・実習科目の履修生数は、50人以下とする。

別表第7 博物館に関する科目

学部学科	施行規則に定める科目		本学における科目		
	科目名	単位数	授業科目	単位数	備考
学芸学部 メディア情報学科	生涯学習概論	2	生涯学習とメディア	2	必修
	博物館概論	2	ミュージアム概論	2	必修
	博物館経営論	2	ミュージアム経営論	2	必修
	博物館資料論	2	アーカイブ論	2	必修
	博物館資料保存論	2	アーカイブ管理論	2	必修
	博物館展示論	2	空間プレゼンテーション論	2	必修
	博物館教育論	2	ミュージアム教育論	2	必修
	博物館情報・メディア論	2	情報・メディア論	2	必修
	博物館実習	3	博物館実習	3	必修
	計	19	計	19	

別表第8 上級情報処理士に関する科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
学芸学部 メディア情報学科	領域1 情報処理概論 インターネットとビジネス メディアデザイン デジタルデザイン プログラミング基礎 電子メディア論 デジタルプレゼンテーション演習 情報管理論	2 2 2 2 2 2 2 2	必修
	領域2 メディアと法 情報社会論 Webデザイン基礎 アニメーション技法 データベース論 データベース演習 Webデザイン応用 プログラミング応用 情報通信ネットワーク論 情報通信ネットワーク演習 ビジュアルエフェクト演習 アプリケーション開発	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	必修 必修
	領域3 ゼミナール I メディアワーク I メディアワーク II メディアワーク III プロジェクトワーク I プロジェクトワーク II ゼミナール II	2 2 2 2 2 2 2	必修
	合計	54	必修科目を含め合計24単位以上

別表第9 ビジネス実務士取得に関する科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
学芸学部 メディア情報学科	領域1		
	ビジネス実務総論	2	
	マーケティング論	2	必修
	マネジメント論	2	
	領域2		
	流通論	2	必修
	プロモーションとサービス	2	
	マーケティングリサーチ	2	
	領域3		
	ゼミナールI	2	必修
	ゼミナールII	2	
合計		16	総計10単位以上

別表第10 ウェブデザイン実務士取得に関する科目

学部学科	規則等に規定する教育内容	該当授業科目	必修・選択の別	単位数	備考
学芸学部 メディア情報学科	必修科目	領域 1 Webデザイン基礎 情報リテラシー I 領域 2 デジタルデザイン Webデザイン応用 領域 3 Webデザイン実践	必修 必修 必修 必修 必修	2 1 2 2 2	
		小計		9	
	選択必修科目	領域 1 情報リテラシー II メディアと法 領域 2 色彩文化論 3DCG基礎 アニメーション技法 アプリケーション開発 領域 3 コンセプト構想論	選択必修 選択必修 選択必修 選択必修 選択必修 選択必修	1 2 2 2 2 2	12単位必修
		小計		13	
		合計		22	

別表第11 一級・二級建築士試験指定科目

学部学科	分 野	授 業 科 目 名	単位数	一級建築士			二級建築士		
学芸学部	①建築設計 製図	製図 II	1						
		空間デザイン	2	7 単位 必修		7 単位 必修		3 単位 必修	3 単位 必修
		建築デザイン II	2						
		インテリアデザイン II	2						
		建築デザイン III	2						
	②建築計画	住宅デザインの歴史	2	7 単位 必修		7 単位 必修		2 単位 必修	2 単位 必修
		建築の歴史	2						
		住宅計画	2						
		空間デザインと計画	2						
	③建築環境 工学	空間デザインと環境	2	2		2			
	④建築設備	空間デザインと設備	2	2		2			
	⑤構造力学	空間デザインと構造	2	4 単位 必修	50 単位 必修	4 単位 必修	40 単位 必修	40 単位 必修	30 単位 必修
		建築構造	2						20 単位 必修
	⑥建築一般 構造	空間デザインと構法	2	3 単位 必修		3 単位 必修		3 単位 必修	3 単位 必修
		建築構法演習	1						
	⑦建築材料	空間デザインと材料	2	2		2			
	⑧建築生産	建築施工	2	2		2		2	2
	⑨建築法規	建築法規	2	2		2		2	2
	⑩その他	空間構成	2						
		製図 I	1						
		CAD I	2						
		CAD II	2						
		CAD III	2						
		人間工学	2						
		インテリアデザイン I	2						
		福祉住環境演習	1						
		建築デザイン I	2						
合計単位数			50	50	40	40	30	20	
免許登録時に必要となる建築実務の経験				3年	4年	0年	1年	2年	

別表第12 インテリアプランナー登録資格に関する科目

学部学科	区分	科目名称	単位数	備考
学芸学部 生活デザイン学科 インテリア関連科目	インテリア関連科目	デザイン史 I	2	A (36単位-B-C) 単位以上
		デザイン史 II	2	
		色彩論	2	
		空間構成	2	
		立体構成	1	
		デザインスケッチ	1	
		モデルメイキング I	2	
		建築の歴史	2	
		住宅デザインの歴史	2	
		デザインの入り口	2	
インテリア専門科目	インテリア専門科目	住宅計画	2	B (24単位-C) 単位以上
		人間工学	2	
		空間デザインと環境	2	
		空間デザインと設備	2	
		造形心理	2	
		空間デザインと材料	2	
		ファブリック概論	2	
		空間デザインと構法	2	
		建築構法演習	1	
		空間デザインと構造	2	
		建築施工	2	
		建築法規	2	
		建築デザイン I	2	
		空間デザイン	2	
インテリア専門科目	インテリア専門科目	製図 I	1	C (1単位以上必修)
		CAD I	2	
		CAD II	2	
		CAD III	2	
		空間デザインと計画	2	
		インテリアデザイン I	2	
		インテリアコーディネイト演習	1	
インテリア専門科目	インテリア専門科目	インテリアデザイン II	2	C (1単位以上必修)
		製図 II	1	
		建築デザイン II	2	
		建築デザイン III	2	
合計			64	36単位以上

別表第13 商業施設士（補）に関する科目

群	区分	内容／考えられる科目の一例	科目名称	単位数	備考
A-1	商業一般	商業一般に関する科目 『考えられる科目名の一例』 消費経済学 生活概論 マーケティング論 流通論 など	環境学 スマートビジネス デザインとビジネス デザインの入り口	2 2 2 2	2区分以上にわたり 30単位以上
A-2	業態計画	商業施設の構成に関する科目 『考えられる科目名の一例』 まちづくり論 商空間計画論 空間演出論 スペース デザイン論 など	色彩論 人間工学 造形心理	2 2 2	
A-3	計画一般	商業施設の企画、商業施設の計画、法規、安全計画、展示・装 置計画、設計に関する科目 『考えられる科目名の一例』 インテリアデザイン 店舗(小売業)計画 安全設備論 展示学 など	空間構成 立体構成 モデルメイキング I モデルメイキング II インテリアデザイン I インテリアデザイン II デザイン史 I デザイン史 II	2 1 2 2 2 2 2 2	
A-4	施設計画	建築一般に関する科目 『考えられる科目名の一例』 建築計画学 建築法規 建築史 都市計画 など	空間デザインと環境 住宅デザインの歴史 住宅計画 建築の歴史 空間デザイン 建築デザイン I 建築デザイン II 空間デザインと構造 空間デザインと計画 建築法規	2 2 2 2 2 2 2 2 2	
A-5	監理・施工	商空間の工事監理・施工に関する科目 『考えられる科目名の一例』 建築施工 材料 積算・見積り 安全管理 など	建築構法演習 プロダクトデザイン I プロダクトデザイン II 空間デザインと材料 空間デザインと構法 空間デザインと設備 建築施工 建築構造	1 2 2 2 2 2 2 2	
B-1	図案表現	設計・製図・CAD・CGなど により、商業施設を構想し表現 することに関する科目 『考えられる科目名の一例』 インテリアデザイン演習 表現法演習 設計・製図実習 CADなど	製図 I CAD I 製図 II デザインスケッチ CAD II	1 2 1 1 2	どちらかの区分で 4単位以上
B-1	文章表現	プレゼン・マーケティング・コンサルにより、商業施設を構想し表現 することに関する科目 『考えられる科目名の一例』 マーケティング戦略演習 プレゼンカ 分析・解析技法 など	プレゼンテーションスキル CAD III 3DCG 演習	1 2 2	

別表第14 プレゼンテーション実務士に関する科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
人間社会学部 社会マネジメント学科	1. 領域1 プレゼンテーション概論 プレゼンテーション演習Ⅰ プレゼンテーション演習Ⅱ 日本語表現法	2 2 2 2	必修
	2. 領域2 プレゼンテーション演習Ⅲ 社会人デビュー講座（基礎編） 社会人デビュー講座（中級編） 社会人デビュー講座（応用編） 統計基礎 映像で学ぶ近現代史1	2 1 1 1 2 2	必修 10単位以上
	3. 領域3 基礎教育講座 地域で学ぶ社会のしくみ 日本語スキルアップ講座	2 1 2	必修
	計	22	

別表第15 社会調査士に関する科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
人間社会学部 社会マネジメント学科	A 社会調査の基本的事項に関する科目 社会調査法概論	2	必修
	B 調査設計と実施方法に関する科目 社会調査法演習	2	必修
	C 基本的な資料とデータの分析に関する科目 統計基礎	2	必修
	D 社会調査に必要な統計学に関する科目 応用統計学	2	必修
	E 量的データ解析の方法に関する科目 集計・分析の技法	2	2単位必修
	F 質的な分析の方法に関する科目 フィールドワークの技法	2	
	G 社会調査の実習を中心とする科目 ゼミナール I	2	4単位以上 ただし同一科目を I・II 連続で履修し単位を修得しなければならな
	ゼミナール II	2	
	社会調査法実習 I	2	
	社会調査法実習 II	2	
	地域連携プロジェクト演習 I	2	
	地域連携プロジェクト演習 II	2	
	計	24	

別表第16 社会福祉士国家試験の受験資格に関する科目

学部学科	項目	該当授業科目	授業形態	単位数	時間数	備考
人間社会学部 社会マネジメント学科 人間心理学科	一 医学概論	人体の構造と機能及び疾病	講義	2	30	必修
	二 心理学と心理的支援	心理学概論	講義	2	30	必修
	三 社会学と社会システム	社会学と社会システム	講義	2	30	必修
	四 社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ 社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義 講義	2 2	30 30	必修 必修
	五 社会福祉調査の基礎	社会調査法概論	講義	2	30	必修
	六 ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	講義	2	30	必修
	七 ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	講義	2	30	必修
	八 ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義 講義	2 2	30 30	必修 必修
	九 ソーシャルワークの理論と方法（専門）	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	講義 講義	2 2	30 30	必修 必修
	十 地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義 講義	2 2	30 30	必修 必修
	十一 福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	講義	2	30	必修
	十二 社会保障	社会保障法Ⅰ 社会保障法Ⅱ	講義 講義	2 2	30 30	必修 必修
	十三 高齢者福祉	高齢者福祉	講義	2	30	必修
	十四 障害者福祉	障害者福祉	講義	2	30	必修
	十五 児童・家庭福祉	児童・家庭福祉	講義	2	30	必修
	十六 貧困に対する支援	生活保護制度	講義	2	30	必修
	十七 保健医療と福祉	保健医療と福祉	講義	2	30	必修
	十八 権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	講義	2	30	必修
	十九 刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	講義	2	30	必修
	二十 ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習（基礎）	演習	1	30	必修
	二十一 ソーシャルワーク演習（専門）	ソーシャルワーク演習（専門）Ⅰ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅱ ソーシャルワーク演習（専門）Ⅲ	演習 演習 演習	1 2 1	30 60 30	必修 必修 必修
	二十二 ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	演習 演習 演習	1 1 1	30 30 30	必修 必修 必修
	二十三 ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習Ⅰ ソーシャルワーク実習Ⅱ	実習 実習	2 6	60 180	必修 必修
本学独自に規定する教育内容		社会福祉士試験対策講座Ⅰ 社会福祉士試験対策講座Ⅱ	講義 講義	2 2	30 30	
		計		68	64単位以上	

別表第17 準学校心理士に関する科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
人間社会学部人間心理学科	教育・学校心理学	2	必修
	発達心理学	2	必修
	障害者・障害児心理学	2	必修
	福祉心理学	2	必修
	心理的アセスメント	2	必修
	心理学的支援法	2	必修
	計	12	

別表第18 ピアヘルパーに関する科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
人間社会学部 人間心理学科	心理学的支援法	2	必修
	青年心理学	2	必修
	計	4	

別表第19 公認心理師国家試験の受験資格に関する科目

学部学科	公認心理師法施行規則に定める科目	学則に定める本学開講科目	単位数	備考
人間社会学部 人間心理学科	公認心理師の職責	公認心理師の職責	2	必修
	心理学概論	心理学概論	2	必修
	臨床心理学概論	臨床心理学概論	2	必修
	心理学研究法	心理学研究法	2	必修
	心理学統計法	心理学統計法 I	2	必修
	心理学実験	心理学実験演習 I	2	必修
	知覚・認知心理学	知覚・認知心理学 I	2	必修
		知覚・認知心理学 II	2	必修
	学習・言語心理学	学習・言語心理学	2	必修
	感情・人格心理学	感情・人格心理学	2	必修
	神経・生理心理学	神経・生理心理学	2	必修
	社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学	2	必修
	発達心理学	発達心理学	2	必修
	障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2	必修
	心理的アセスメント	心理的アセスメント	2	必修
	心理学的支援法	心理学的支援法	2	必修
	健康・医療心理学	健康・医療心理学	2	必修
	福祉心理学	福祉心理学	2	必修
	教育・学校心理学	教育・学校心理学	2	必修
	司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	2	必修
	産業・組織心理学	産業・組織心理学	2	必修
	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	必修
	精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	2	必修
	関係行政論	関係行政論	2	必修
	心理演習	心理演習	2	必修
	心理実習	心理実習	2	必修
計			52	

別表第20 健康栄養学科における栄養士免許取得に関する科目

学部学科	規則等に規定する教育内容	単位数		該当授業科目	単位数	
		講義 又は 演習	実験 又は 実習		講義 又は 演習	実験 又は 実習
栄養科学部 健康栄養学科	社会生活と健康	4	4	公衆衛生学	2	
				社会福祉論	2	
				社会生活と健康の小計	4	
	人体の構造と機能	8		解剖生理学	2	1
				解剖生理学実習	2	
				運動生理学	2	
				生化学	2	
				生化学実験	1	
				臨床医学	2	
				人体の構造と機能の小計	8	2
栄養と健康	食品と衛生	6	10	食品学総論	2	
				食品学各論	2	1
				食品学実験 I	1	
				食品学実験 II	1	
				食品官能評価・鑑別演習	2	
				食品衛生学	2	
				食品衛生学実験	1	
				微生物学	2	
				基礎化学実験	1	
				食品と衛生の小計	10	4
栄養の指導	栄養と健康	8	10	栄養学総論 I	2	
				栄養学総論 II	2	
				ライフステージの栄養学 I	2	
				ライフステージの栄養学 II	2	1
				ライフステージの栄養学実習		
				運動栄養学	2	
				臨床栄養学 I	2	
				臨床栄養学 II	2	
				臨床栄養学実習	1	
				栄養と健康の小計	14	2
給食の運営	栄養の指導	6	10	公衆栄養学	2	
				栄養士入門	2	
				栄養指導論	2	
				栄養士基礎実習	1	
				栄養指導論実習	1	
				栄養の指導の小計	6	2
				給食管理論	2	
				給食管理演習	2	
				給食管理実習 (校内)	2	1
				給食管理実習 (校外)	1	
	給食の運営	4		校外実習事前事後指導	1	
				調理学	2	
				調理科学演習	2	
				調理学実習 I	1	
				調理学実習 II	1	
				フードコーディネート論実習	1	
				給食の運営の小計	9	6
	小計	36		小計	51	16
	合計	50		合計	67	

別表第21 フードスペシャリストに関する科目

学部学科	規定科目	単位数	該当授業科目	単位数	備考
栄養科学部 健康栄養学科	フードスペシャリスト論	2 単位以上	フードスペシャリスト論	2	必修
	食品の官能評価・鑑別論 〔統計処理を含む〕	次のいずれかを含む授業が行われること (1) 演習 2 単位以上 (2) 講義 2 単位以上及び演習 1 単位以上 (3) 講義 1 単位以上及び実験もしくは実習 1 単位以上	食品官能評価・鑑別演習	2	必修
	食物学（食品学、食品加工学、食商品学等）に関する科目	講義 4 単位以上及び実験又は実習 1 単位以上	食品学総論 食品学各論 食品学実験 I	2 2 1	必修 必修 必修
	食品の安全性（食品衛生、食中毒、有害物質、食品添加物、水質等）に関する科目	2 単位以上	食品衛生学	2	必修
	調理学（調理科学を含む）に関する科目	講義 2 単位以上及び実験又は実習 2 単位以上	調理学 調理科学演習 調理学実習 I 調理学実習 II	2 2 1 1	必修 必修 必修 必修
	栄養と健康に関する科目 〔食品機能論を含む〕	2 単位以上	栄養学総論 I 食品機能論	2 2	必修 必修
	食品流通・消費に関する科目 〔マーケティングリサーチを含む〕	2 単位以上	消費者商品学	2	必修
	フードコーディネート論	2 単位以上	フードコーディネート論 フードコーディネート論実習	2 1	必修 必修
	フードスペシャリスト資格に適当とされる科目		食育プラクティス 消費経済学 スポーツ栄養学	2 2 2	2単位以上
			計	32	

別表第22 食品衛生管理者及び食品衛生監視員に関する科目

学部学科	規則等に規定する科目群	基本科目名	左記基本科目に該当する 本学の授業科目名	単位数	健康栄養学科	管理栄養学科	
栄養科学部 健康栄養学科 管理栄養学科	A群 化学関係	分析化学	基礎化学実験	1	○		
			基礎科学実験	1		○	
		有機化学	有機化学	2	○		
	B群 生物化学 関係	生物化学	生化学	2	○		
			生化学 I	2		○	
			生化学 II	2		○	
			生化学実験	1	○	○	
		食品化学	食品学総論	2	○	○	
			食品学各論	2	○	○	
			調理科学	2		○	
			食品学実験 I	1	○	○	
		食品分析学	食品学実験 II	1	○	○	
			食品官能評価・鑑別演習	2	○		
			調理科学演習	2	○		
C群 微生物学 関係	微生物学	微生物学		2	○	○	
	食品製造学 関係	(削る)					
		食品加工学実習		1	○		
D群 公衆衛生学 関係	公衆衛生学	公衆衛生学		2	○		
		公衆衛生学 I		2		○	
		公衆衛生学 II		2		○	
	食品衛生学	食品衛生学		2	○	○	
		食品衛生学実習		1	○	○	
合計 (A群+B群+C群+D群)				22単位以上			
E群 その他の 関連科目	水産化学、畜産化学、 放射線化学、乳化学、 食肉化学、高分子化学、 生物有機化学、 環境汚染物質分析学、 酵素化学、食品理化学、 水産生理学、家畜生理学、 植物生理学、環境生物学、 応用微生物学、 酪農微生物学、病理学、 医学概論、解剖学、 医科学、産業医学、 血液学、血清学、遺伝学、 寄生虫学、獣医学、 栄養化学、衛生統計学、 栄養学、環境保健学、 衛生管理学、水産製造学、 畜産品製造学、 農産物製造学、 醸造調味食品製造学、 乳製品製造学、缶詰工学、 食品工学、食品保藏学、 冷凍冷藏学、 品質管理学、等	●講義科目					
		栄養学総論 I		2	○		
		栄養学総論 II		2	○		
		ライフステージの栄養学 I		2	○		
		ライフステージの栄養学 II		2	○		
		臨床医学		2	○		
		臨床栄養学 I		2	○		
		臨床栄養学 II		2	○		
		公衆栄養学		2	○		
		解剖生理学		2	○		
		基礎栄養学		2		○	
		応用栄養学 I		2		○	
		応用栄養学 II		2		○	
		解剖生理学 I		2		○	
		解剖生理学 II		2		○	
		臨床医学 I		2		○	
		臨床医学 II		2		○	
		公衆栄養学 I		2		○	
		●実習科目					
		ライフステージの栄養学実習		1	○		
		応用栄養学実習		1		○	
		臨床栄養学実習		1	○		
		解剖生理学実習		1	○		
		保健統計学実習		1		○	
		基礎栄養学実習		1		○	
合計 (E群)				18単位以上			
最低必要単位数 総合計 (A群+B群+C群+D群+E群)						40単位以上	

別表第23 管理栄養学科における栄養士免許取得に関する科目

学部学科	規則等に規定する講義内容	単位数		該当授業科目	単位数	
		講義 又は 演習	実験 又は 実習		講義 又は 演習	実験 又は 実習
栄養科学部 管理栄養学科	社会生活と健康	4	4	公衆衛生学 I 保健介護福祉論 社会生活と健康の小計	2 2 4	
	人体の構造と機能	8		解剖生理学 I 解剖生理学 II 解剖生理学実習 生化学 I 生化学実習 臨床医学 I 人体の構造と機能の小計	2 2 1 2 1 2 8	2
	食品と衛生	6		食品学総論 食品学各論 食品学実習 I 食品衛生学 食品衛生学実習 食品と衛生の小計	2 2 1 2 1 6	2
	栄養と健康	8		基礎栄養学 基礎栄養学実習 食事摂取基準論 応用栄養学 I 応用栄養学 II 応用栄養学実習 栄養と健康の小計	2 2 1 2 2 1 8	1
	栄養の指導	6		栄養教育論 I 栄養教育実践活動論 栄養教育実習 食事療法実習 臨床栄養管理実習 公衆栄養学 I 公衆栄養学実習 栄養の指導の小計	2 2 1 1 1 2 1 6	4
	給食の運営	4		給食経営管理論 I 給食経営管理論 II 給食経営管理実習 調理学実習 臨地実習 I (給食の運営) 給食の運営の小計	2 2 2 1 1 4	4
	小計	36		小計	36	14
	合計	50		合計		50

別表第24 管理栄養学科における管理栄養士国家試験の受験資格を得るための科目

学部学科	規則等に規定する教育内容	単位数 講義 又は 演習	該当授業科目	単位数	
				実験 又は 実習	講義 又は 演習
栄養科学部 管理栄養学科	専門基礎分野	社会・環境と健康	6	10	公衆衛生学 I 公衆衛生学 II 保健統計学実習 保健介護福祉論 社会・環境と健康の小計
			14		2 2 2 2 6 1
			14		2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 14 3
		人体の構造と機能 及び疾病の成り立ち	14		生化学 I 生化学 II 生化学実習 解剖生理学 I 解剖生理学 II 臨床医学 I 臨床医学 II 解剖生理学実習 臨床検査実習 「身体活動」の生理学 人体の構造と機能及び疾病の成り立ちの小計
			14		2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 14 3
			8		食品学総論 食品学各論 食品学実験 I 食品学実験 II 調理科学 調理学実習 応用調理学実習 調理科学実験 食品衛生学 食品衛生学実験 食べ物と健康の小計
			8		2 2 2 2 2 2 2 2 8 6
			28		食べ物と健康の小計 専門基礎分野合計
	専門分野	基礎栄養学	2		基礎栄養学 基礎栄養学実験 基礎栄養学の小計
			2		2 1 2 1
		応用栄養学	6		応用栄養学 I 応用栄養学 II 応用栄養学実習 食事摂取基準論 栄養ケアマネジメント実習 応用栄養学の小計
			6		2 2 2 2 2 6 2
			6		応用栄養学 I 応用栄養学 II 応用栄養学実習 食事摂取基準論 栄養ケアマネジメント実習 応用栄養学の小計
		栄養教育論	6		栄養教育論 I 栄養教育論 II 栄養教育実践活動論 栄養教育実習 栄養教育論の小計
			6		2 2 2 2 6 1
			8		臨床栄養管理学 I 臨床栄養管理学 II 臨床栄養管理学 III 病態栄養治療学演習 臨床栄養管理実習 食事療法実習 臨床栄養学の小計
			8		2 2 2 2 2 8 2
		公衆栄養学	4		公衆栄養学 I 公衆栄養学 II 公衆栄養学実習 公衆栄養学の小計
			4		2 2 2 4 1
		給食経営管理論	4		給食経営管理論 I 給食経営管理論 II 給食経営管理実習 給食経営管理論の小計
			4		2 2 2 4 2
			2		管理栄養士演習 I 管理栄養士演習 II 管理栄養士演習 III 管理栄養士演習 IV 管理栄養士演習 V 総合演習の小計
		臨地実習	4		1 1 1 2 6 1 2 1 4
			4		臨地実習 I (給食の運営) ※ 臨地実習 II (臨床栄養学) 臨地実習 III (公衆栄養学) 臨地実習の小計
			32		専門分野の小計
			60		累計
			82		合計
					合計

※給食の運営に係る校外実習

別表第25 情報処理士に関する科目

学部学科	授業科目	単位数	備考
学芸学部	領域1		
日本語日本文学科	情報ネットワーク論	2	
英語文化コミュニケーション学科	情報リテラシーⅠ	1	必修
子ども教育学科	情報リテラシーⅡ	1	必修
メディア情報学科	情報システム論	2	
生活デザイン学科	領域2		
人間社会学部	情報処理概論	2	必修
社会マネジメント学科	基礎統計学	2	
人間心理学科	数理リテラシー	2	
栄養科学部	キャリア・プランニング	2	
健康栄養学科	ビジネス実務総論	2	
管理栄養学科	倫理学	2	
	経済学	2	
	メディアと文化	2	
	社会学	2	
	ビジネスのための経済・経営学	2	
領域3			
	さがみ総合講座Ⅱ	2	必修
	問題発見・解決型プロジェクト実践Ⅰ	1	
	問題発見・解決型プロジェクト実践Ⅱ	1	
	計	30	必修科目を含め合計16単位以上

別表第26 入学金、授業料等の学費

(単位 円)

	学芸学部				
	日本語日本文学科	英語文化コミュニケーション学科	子ども教育学科	メディア情報学科	生活デザイン学科
入学金 (入学時)	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
授業料 (年額)	725,000	725,000	730,000	725,000	745,000
施設設備費 (年額)	320,000	320,000	360,000	320,000	360,000

(単位 円)

	人間社会学部	
	社会マネジメント学科	人間心理学科
入学金 (入学時)	300,000	300,000
授業料 (年額)	725,000	725,000
施設設備費 (年額)	320,000	320,000

(単位 円)

	栄養科学部	
	健康栄養学科	管理栄養学科
入学金 (入学時)	300,000	300,000
授業料 (年額)	745,000	745,000
施設設備費 (年額)	360,000	360,000

学則の変更事項を記載した書類

1. 変更の事由

現在の学生募集の状況を踏まえ、収容定員を下記のとおり変更することに伴い、学則を一部改正する。

- ①学芸学部日本語日本文学科の入学定員を 20 名減員して 110 名とし、収容定員を 450 名とする。
- ②学芸学部英語文化コミュニケーション学科の入学定員を 10 名減員して 110 名とし、収容定員を 450 名とする。
- ③学芸学部メディア情報学科の入学定員を 15 名増員して 95 名とし、収容定員を 390 名とする。
- ④学芸学部日本語日本文学科、英語文化コミュニケーション学科、メディア情報学科の入学定員の変更により、学芸学部の入学定員を 15 名減員の 460 名、収容定員を 60 名減員の 1896 名とする。
- ⑤人間社会学部社会マネジメント学科の入学定員を 10 名減員して 110 名とし、収容定員を 460 名とする。
- ⑥人間社会学部人間心理学科の入学定員を 10 名増員して 120 名とする。また、編入学定員を 2 名減員の 10 名とし、収容定員を 500 名とする。
- ⑦人間社会学部人間心理学科の編入学定員の変更により、人間社会学部の収容定員は 4 名減員の 960 名とする。
- ⑧大学全体の入学定員を 15 名減員の 870 名、収容定員を 64 名減員の 3,612 名とする。

2. 変更の時期

令和 6 年 4 月 1 日

相模女子大学学則新旧対照表 (案)

新				旧			
昭和 24 年 3 月 25 日 制定				昭和 24 年 3 月 25 日 制定			
第1条～第14条 一略一				第1条～第14条 一略一			
第15条 収容定員は次のとおりとする。				第15条 収容定員は次のとおりとする。			
入学定員 編入学定員 収容定員 (第2年次) (第3年次)				入学定員 編入学定員 収容定員 (第2年次) (第3年次)			
学芸学部							
日本語日本文学科	110名	5名	450名	日本語日本文学科	130名	5名	530名
英語文化コミュニケーション学科	110名	5名	450名	英語文化コミュニケーション学科	120名	5名	490名
子ども教育学科	100名	2名	5名	416名	100名	2名	5名
メディア情報学科	95名	5名	390名	メディア情報学科	80名	5名	330名
生活デザイン学科	45名	5名	190名	生活デザイン学科	45名	5名	190名
小計	460名	2名	25名	1,896名	小計	475名	2名
人間社会学部					25名	1,956名	
社会マネジメント学科	110名	10名	460名	社会マネジメント学科	120名	10名	500名
人間心理学科	120名	10名	500名	人間心理学科	110名	12名	464名
小計	230名	20名	960名	小計	230名	22名	964名
栄養科学部							
健康栄養学科	80名	8名	336名	健康栄養学科	80名	8名	336名
管理栄養学科	100名	10名	420名	管理栄養学科	100名	10名	420名
小計	180名	18名	756名	小計	180名	18名	756名
合計	870名	2名	63名	3,612名	合計	885名	2名
2—略—					65名	3,676名	
第16条～第53条 一略一							
附 則							
1～73 一略一							
<u>74. 令和5年3月23日一部改正</u>							
<u>本学則は令和6年4月1日から施行する。ただし、令和5年度以前の入学生については、なお従前の学則を適用する。また、第15条の規定にかかわらず収容定員および収容定員の合計は次のとおりとする。</u>							
令和6年度 令和7年度 令和8年度 令和9年度							
<u>学芸学部</u>							
日本語日本文学科	510名	490名	470名	450名			
英語文化コミュニケーション学科	480名	470名	460名	450名			
子ども教育学科	416名	416名	416名	416名			
メディア情報学科	345名	360名	375名	390名			
生活デザイン学科	190名	190名	190名	190名			

<u>人間社会学部</u>				
<u>社会マネジメント学科</u>	<u>490名</u>	<u>480名</u>	<u>470名</u>	<u>460名</u>
<u>人間心理学科</u>	<u>474名</u>	<u>484名</u>	<u>492名</u>	<u>500名</u>
<u>栄養科学部</u>				
<u>健康栄養学科</u>	<u>336名</u>	<u>336名</u>	<u>336名</u>	<u>336名</u>
<u>管理栄養学科</u>	<u>420名</u>	<u>420名</u>	<u>420名</u>	<u>420名</u>
<u>合 計</u>	<u>3,661名</u>	<u>3,646名</u>	<u>3,629名</u>	<u>3,612名</u>

別表第1～26 一略一

以上

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目 次

ア 学則変更（収容定員変更）の内容・・・P. 2

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性・・・P. 2～3

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容・・・P. 3～4

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

現在の学生募集の状況を踏まえ、令和6年度より、相模女子大学 学芸学部日本語日本文学科・英語文化コミュニケーション学科・メディア情報学科、人間社会学部社会マネジメント学科・人間心理学科の収容定員を下記の表のとおり変更し、大学全体の収容定員を64名減員の3,612名とする。

学部・学科	入学定員			3年次編入学定員			収容定員		
	変更前	変更後	増減	変更前	変更後	増減	変更前	変更後	増減
学芸学部									
日本語日本文学科	130名	110名	△20名	5名	5名	0名	530名	450名	△80名
英語文化コミュニケーション学科	120名	110名	△10名	5名	5名	0名	490名	450名	△40名
メディア情報学科	80名	95名	15名	5名	5名	0名	330名	390名	60名
学部計（上記以外の学科含む）	475名	460名	△15名	25名	25名	0名	1956名	1896名	△60名
人間社会学部									
社会マネジメント学科	120名	110名	△10名	10名	10名	0名	500名	460名	△40名
人間心理学科	110名	120名	10名	12名	10名	△2名	464名	500名	36名
学部計	230名	230名	0名	22名	20名	△2名	964名	960名	△4名
大学合計	885名	870名	△15名	65名	63名	△2名	3,676名	3,612名	△64名

※本学の学部・学科の内、定員に変更のあるもののみ記載／下線は変更点

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

相模女子大学は、1900年に西澤之助が当時の東京市本郷区（現・東京都文京区）に設立した日本女学校を起点として創立され、2025年に創立125周年を迎える。本学は、建学の精神「高潔善美」にもとづく教養ある人材を育成するとともに、スローガン「見つめる人になる。見つける人になる。」を掲げ、女性ならではのしなやかな発想力、豊かな包容力を身につけながら、地域社会の未来を女性ならではの着眼点で発想し、貢献する女性を育成している。現在は、学芸学部5学科、人間社会学部2学科、栄養科学部2学科の計3学部9学科が置かれ、大学院1研究科、専門職大学院1研究科を有している。

このたび定員変更を行う学部・学科のうち、入学定員を減少するのは学芸学部日本語日本文学科・英語文化コミュニケーション学科、人間社会学部社会マネジメント学科の3学科であり、編入学定員を減少するのは人間社会学部人間心理学科である。また、入学定員を増加するのは学芸学部メディア情報学科と人間社会学部人間心理学科の2学科である。

学芸学部日本語日本文学科・英語文化コミュニケーション学科、人間社会学部社会マネジメント学科においては、別添資料のとおり、いずれも2021年度から2023年度にかけて3年連続で入学者数が減少し、2023年度入学者は定員の50%～60%程度となっている。また、人間心理学科の編入学においては、2019年度から2023年度までの5年間、増減はあるもの

の、最多で41%、最少で16%と、定員を満たせない状況が続いている。このため、日本語日本文学科で20名、英語文化コミュニケーション学科と社会マネジメント学科でいずれも10名、入学定員を減少する。また、人間心理学科の編入学定員を2名減少する。これによって、募集状況に沿ったより適切な大学運営をめざす。

一方、学芸学部メディア情報学科においては、2019年度から2023年度までの5年間、常に定員を上回る入学者数を得ており、2021年度から2023年度にかけては、大学全体の入学者数が減少を続ける中で、130%を超える入学者数となっている。この背景には、コロナ禍が契機となって各種メディアへの関心が高まっていること、情報についての関心の高まりが見られることなどの社会的な要因のほかに、本学科が2020年度からのカリキュラム改定によって学芸員課程を開設したこと、司書資格も取得が可能になったことなど、国家資格への対応が多くの志願者を集める結果を生んでいると考えられ、この傾向は今後も続くものと予想される。この状況をふまえて、メディア情報学科の入学定員を15名増加する。

また、人間社会学部人間心理学科においては、2019年度から2023年度までの5年間、常に入学定員を上回る入学者があり、2020年度から2023年度まで連続して定員の110%程度の入学者数となっている。公認心理師と社会福祉士という二つの国家資格に対応していること、また、カリキュラムが心理学のみに特化せず、哲学・倫理学、人類学、社会福祉学など、人間心理の理解に資する複数の学問領域から学際的に学べるように構成されていることがこの状況を生んでいると考えられる。2023年度にはさらに准学校心理士資格にも対応する予定であり、今後も現在の入学定員を超える入学状況が見込まれることから、人間心理学科の入学定員を10名増加する。

以上の変更により、学芸学部日本語日本文学科の収容定員は530名から450名、英語文化コミュニケーション学科の収容定員は490名から450名、メディア情報学科の収容定員は330名から390名となり、学芸学部全体の収容定員としては1,956名から1,896名と、60名減少する。また、人間社会学部社会マネジメント学科の収容定員は500名から460名、人間心理学科の収容定員は464名から500名となり、人間社会学部全体の収容定員としては964名から960名と、4名減少する。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

今回の収容定員変更に伴う現行の教育課程に対する変更は行わない。ただし、各学科はカリキュラムの改定を策定中であり、新たな収容定員の規模によりふさわしいカリキュラムを改定時に実現することをめざす。

（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容

今回の収容定員変更に伴う現行の教育方法及び履修指導方法の変更は行わない。ただし、

収容定員が増加となるメディア情報学科、人間心理学科においては、必要に応じて授業補助要員の増員などを行い、教育の質の維持向上に努める。

（ウ）教員組織の変更内容

今回の収容定員変更に伴う教員数の変更は、大学設置基準を十分に満たしていることから行わない。収容定員が増加となるメディア情報学科、人間心理学科においては、必要に応じてクラスの増設を行い、新規の非常勤講師採用をもって増設クラス担当とする。収容定員が減少となる学科においては専任教員を減員しないため、これまでと同等以上の内容が担保される。

（エ）大学全体の施設・設備

大学全体としては収容定員が減少となり、現状の施設・設備で十分対応できるため、今回の収容定員変更に伴う変更は予定していない。ただし、収容定員が増加となる学科については、ICT機器など、必要に応じて設備の増強を行う。

学則の変更の趣旨等を記載した書類 別添資料

過去5年間の入学志願状況 (2019～2023年度)

項目：入学定員、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、充足率

学科	区分	2019	2020	2021	2022	2023
日本語日本文学科	入学定員	130	130	130	130	130
	志願者数	290	451	286	195	160
	受験者数	282	435	271	186	152
	合格者数	269	271	202	173	144
	入学者数	129	153	109	79	75
	充足率	99.2%	117.7%	83.8%	60.8%	57.7%

学科	区分	2019	2020	2021	2022	2023
英語文化コミュニケーション学科	入学定員	120	120	120	120	120
	志願者数	369	438	250	187	119
	受験者数	354	428	241	177	115
	合格者数	273	243	213	174	114
	入学者数	151	126	77	65	59
	充足率	125.8%	105.0%	64.2%	54.2%	49.2%

学科	区分	2019	2020	2021	2022	2023
メディア情報学科	入学定員	80	80	80	80	80
	志願者数	186	382	342	234	194
	受験者数	178	367	335	229	184
	合格者数	176	217	166	170	157
	入学者数	89	125	108	111	104
	充足率	111.3%	156.3%	135.0%	138.8%	130.0%

学科	区分	2019	2020	2021	2022	2023
社会マネジメント学科	入学定員	120	120	120	120	120
	志願者数	408	530	432	264	230
	受験者数	393	509	422	252	218
	合格者数	310	291	286	234	210
	入学者数	150	140	112	83	72
	充足率	125.0%	116.7%	93.3%	69.2%	60.0%

学科	区分	2019	2020	2021	2022	2023
人間心理学科	入学定員	110	110	110	110	110
	志願者数	393	420	405	281	232
	受験者数	374	410	395	269	222
	合格者数	253	204	210	204	203
	入学者数	149	128	124	118	116
	充足率	135.5%	116.4%	112.7%	107.3%	105.5%

学科	区分	2019	2020	2021	2022	2023
人間心理学科・編入学	入学定員	12	12	12	12	12
	志願者数	3	3	5	4	2
	受験者数	3	3	5	4	2
	合格者数	3	3	5	3	2
	入学者数	3	2	5	3	2
	充足率	25.0%	16.7%	41.7%	25.0%	16.7%

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況・・・P. 2~6

ア 設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析・・・P. 2

イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析・・・P. 2

ウ 新設学科等の趣旨目的, 教育内容, 定員設定等・・・P. 2

エ 学生確保の見通し・・・P. 2~4

　A. 学生確保の見通しの調査結果・・・P. 2~3

　B. 新設学部等の分野の動向・・・P. 3

　C. 中長期的な 18 歳人口の全国的, 地域的動向等・・・P. 3

　D. 競合校の状況・・・P. 3

　E. 既設学部等の学生確保の状況・・・P. 4

　F. その他, 申請者において検討・分析した事項・・・P. 4

オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果・・・P. 4~P. 6

(2) 人材需要の動向等社会の要請・・・P. 6~8

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的 (概要) ・・・P. 6~7

②上記①が社会的, 地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠・・・P. 7~8

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

ア 設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析

本学は、学芸学部 5 学科、人間社会学部 2 学科、栄養科学部 2 学科の計 3 学部 9 学科で構成されている。2019 年度から 2023 年度までの 5 年間における大学全体の入学志願状況は、好調であった 2019 年度、2020 年度に比べ、2021 年度からは 3 年連続で低調に転じている【資料 1】。入学定員充足率においても、2021 年度の 99.3% に比べ、2022 年度は 89.4%、2023 年度は 79.2% と、この 2 年間で減少幅が増大している。しかしながら、このような状況下にあっても、学芸学部メディア情報学科および人間社会学部人間心理学科では、過去 5 年間の志願者数が入学定員の 2 倍を超えており、入学定員充足率も過去 5 年間全てで 100% を大きく上回っている。また、メディア情報学科は、直近 4 年間において、入学定員 80 名に対し 105 名以上の入学者を受け入れており、人間心理学科も入学定員充足率の過去 5 年間の平均が 116% と、安定して入学者を確保している。

イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析

本学の在学生は、東京都及び神奈川県の出身者が約 85% を占めている。2022 年を起点とした 18 歳人口予測では、2034 年時点で全国の平均減少率が-10.3% であるのに対し、神奈川県は-5.9%（全国都道府県で上から 5 番目）、東京都は+2.6%（上から 2 番目）と、全国でも減少率が低いエリアである【資料 2】。女子のみの減少率を見ても、南関東は 97.0% で、全国で最も低いエリアである【資料 3】。また、南関東は、過去 10 年間（2013 年～2022 年）の現役高校生の大学進学率が全国的に最も高いエリアであり【資料 4】、さらに 2022 年の都道府県別の大学進学率においても、神奈川県が 63.2%（全国 3 位）、東京都が 69.8%（全国 1 位）であることから【資料 5】、この先数年は人口減少による影響を比較的受けにくい地域であると考えられる。

ウ 新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

定員数の変更は、各学科の過去 5 年間の志願者数ならびに入学者数をもとに増減人数を設定した。その際、編入学生を含む 4 学年分の学生総数に基づき設定されている必置教員数の増減を最低限で抑えられるよう考慮した。

エ 学生確保の見通し

A. 学生確保の見通しの調査結果

大学通信が実施した「2022 年 進路指導教諭が評価する大学（全国約 2,000 の進学校を対象にアンケートを行い、624 校から回答）」の調査のうち、「生徒に人気がある大学 女子大学編」全国 9 位（神奈川県 1 位）、「小規模だが評価できる大学 女子大学編」全国 27 位（神奈川県 2 位）、「面倒見が良い大学 女子大学編」全国 20 位（神奈川県 2 位）と、高校の進路指導教諭からは一定の評価を受けている【資料 6、7、8】。これは、後述にもあ

るが、本学では 20 年以上前から、職員全体で定期的に高校訪問を行い、本学の取り組みやその成果を丁寧に説明してきた結果とも言える。

また、オープンキャンパスには、コロナ禍となった 2020 年度以降も延べ人数で 3,000 名前後の受験生が毎年参加しており、入学定員の約 3 倍の動員を維持している【資料 9】。

B. 新設学部等の分野の動向

【資料 10】より、メディア情報学科と同系統の学部の動向を見ると、系統区分「その他」のメディア学部の 2022 年度の入学定員充足率は 109.5%、同じく情報・メディア学部は 110.5% で、2021 年度も同様の傾向にある。人間心理学科と同系統の学部の動向を見ると、系統区分「人文科学系」心理学部の 2022 年度の入学定員充足率は 106.0% で、2021 年度の 103.1% より 3 ポイント増加している。両学科とも、同系統の分野は入学者を確保できていると言える。

C. 中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向等

女子の 18 歳人口の中期的な状況として、全国的には 2022~2024 年にかけて約 3 万人減少するが、2024~2027 年にかけては約 1.5 万人増加し、横ばいが続く時期になる

【資料 11】。南関東においては、2022 年を 100 とした場合、2026 年も 100 となり、2024 年から 2026 年にかけて上昇に転じる。さらに、2027~2029 年は、ほぼ横ばい状態であり、中期的に見ても人口減少の影響を受けにくいエリアであると言える【資料 3】。

D. 競合校の状況

メディア情報学科、人間心理学科ともに大妻女子大学を競合校として考えている。大妻女子大学は、一般選抜及び大学入学共通テスト利用選抜での入学辞退者の進学先として上位の大学であり、社会情報学部は東京の千代田キャンパスで本学から 1 時間程度、人間関係学部は東京の多摩キャンパスで本学から 30 分程度と立地が近いことも競合理由の一つである。

メディア情報学科と競合する社会情報学部社会情報学科には社会生活情報学専攻、環境情報学専攻、情報デザイン専攻の 3 つの専攻があり、本学のメディア情報学科で学ぶ分野は 3 つの専攻に関連する。また、人間心理学科と競合する人間関係学部には人間関係学科と人間福祉学科があり、人間関係学科社会・臨床心理学専攻と人間福祉学科が本学の人間心理学科の分野と重なる。これら全ての学科・専攻において、2022 年度の入学定員充足率が 100% を超えている【資料 12】。

以上より、大妻女子大学の両学部とも、本学と同様に入学者を安定的に確保しており、この傾向はしばらく継続するものと思われる。

E. 既設学部等の学生確保の状況

メディア情報学科の特長として、女子高生に興味関心が高い、アニメ・ゲーム・アイドル・動画などのエンターテイメントを学び、メディアについて幅広く研究・制作できることと、情報に関する資格や学芸員、司書など、多くの資格が取得できることが入学定員の充足につながっている。また、神奈川県内に文系のメディア情報系の学科を有する女子大学がないことや、文系の同系統を設置する共学の大学が少ないことも、入学者を確保できている要因の1つと考えている。以上のことから、過去5年間、志願者数及び入学者数を維持できているものと考えている。

人間心理学科においても、以前から女子高生に人気がある、心理学をベースに①人間文化・社会福祉について多角的に学べる、②社会福祉士、公認心理師の2つの国家資格の受験資格が得られる、③心理療法のための充実した演習科目を複数配置しているなど、他大学との差別化を図っていることで、過去5年間において、入学定員を十分に確保できているものと考えている。

F. その他、申請者において検討・分析した事項

本学のキャンパスがある神奈川県相模原市は神奈川県北部に位置し、最寄り駅である小田急線相模大野駅は、ひとつ前の駅が東京の町田駅、横浜駅からも約35分と、東京都内及び神奈川県内からのアクセスが非常に良い。そこから徒歩10分の立地にキャンパスがあり、東京、神奈川だけでなく、静岡県東部や山梨県からも通学可能である。

東京ドーム3.7個分の自然豊かなキャンパスには、併設校の認定こども園、小学部、中学部・高等部全てがワンキャンパスに揃い、他大学にない教育環境を生かして、各学校間での連携教育を積極的に推進しており、高等部とは、「サガジョの学び講座」や「研究室訪問」などの高大連携事業を行っている。毎年、高等部からは全生徒の20%前後が内部進学している。

オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

①本学の知名度及び認知度アップに向けた取り組み

本学は3学部9学科から構成されており、高校生にとって興味関心が高く、幅広い分野が学べる女子大学であることや、「地域貢献度ランキング全国女子大学No.1」（日経グローバル）など、本学の魅力を発信し、受験生に理解してもらうため、以下の広報活動を行っている。

・ネット広告、SNS広告

本学にアプローチがない受験生向けにGoogle広告、Instagram広告等により、本学のスマホサイトや動画サイトに誘導し、本学の魅力を知ってもらう。

・動画広報

本学のイメージ動画を制作し、YouTube広告から誘導し、3ヶ月で12万回視聴された。また、Webオープンキャンパスページ内に各学科の説明、模擬授業動画など約

30の動画を掲載している。

・高校ガイダンス、進学相談会

本学の魅力や学科の特長を受験生に直接伝える機会として、高校ガイダンス・出前授業には年間延べ約200校、進学相談会には延べ約90会場に参加している。

②本学の魅力を体感してもらうイベントの実施

・オープンキャンパス

3～11月にかけて計10回オープンキャンパスを開催し、延べ約3,000名の受験生が来場している。東京ドーム3.7個分の自然豊かなキャンパスや施設設備、学びを体感できるイベントとして、①学生スタッフによる「キャンパスツアーア」、②教員による「模擬授業」、③教員・学生による「学科企画」などを実施するとともに、学生スタッフによる企画として、「トークショー」、「受験生が知りたい情報を学生がリアルな声で伝える展示」など、受験生と教員・学生がコミュニケーションを図れるイベントを実施している。

・授業公開weeks

例年、6月に受験生が通常の大学の授業を体験できる「授業公開weeks」を3週間開催し、約40の授業に延べ100名以上の受験生が参加している。

・大学の学び体験

2022年8月に大学のゼミや実習の授業を体験できる「大学の学び体験」を初めて開催し、19講座に215名が参加した。2023年度には、オープンキャンパスの中で、「探究ワークショップ」として開催する予定である。

③高校訪問

神奈川・東京・静岡東部の約250校を対象に、年に2～3回高校訪問を行い、高校の現場の先生のニーズを聴きながら、本学の取り組みや入試結果、在学生の状況など、進路指導担当の先生にとって有益となる情報を提供することで、高校との信頼関係の構築に努めている。また、上記以外の約20県の地方高校訪問についても年2回実施している。

④高大連携事業

・併設校との連携事業

同じキャンパス内の高等部とは、年に数回、「高大接続研究協議会」を開催し、高大連携事業を推進している。具体的には、年2回の「大学説明会」、「研究室訪問」、「サガジョの学び講座」、大学の授業の「聴講制度」を行い、多くの生徒が参加している。例年、生徒数の約20%前後が内部進学している。

・協定校との連携

2022年度に新規事業として、神奈川県内の私立、公立校3校と「教育交流に関する協定」を締結し、「大学説明会」、「面接体験会」、「高校の授業見学」などを行った。今後は、協定校を増やしていくとともに、上記の併設校との取り組みを実施す

る予定である。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

相模女子大学（学芸学部及び人間社会学部が所属）は、女子に広く高度な知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を展開させ、建学の精神「高潔善美」にもとづく教養ある人材を育成することを目的としている。また、学芸学部（日本語日本文学科、英語文化コミュニケーション学科及びメディア情報学科が所属）は、真に自立した人間の育成を目指し、人文科学系の学問を中心に、総合的な知識・教養・倫理を教授し、情報化・国際化社会に対応できるコミュニケーション能力を養成することを目的としており、人間社会学部（社会マネジメント学科及び人間心理学科が所属）は、社会の動きやしくみを的確に把握する力、感性を生かして人の心を敏感に感じ取る力を育むとともに、社会人としてあるべき教養とマナーを身につけ、自立の実現をめざし、社会の発展と人類の平和に貢献できる人材の育成を目的としている。以下は、本学学則に示す各学科の目的である。

ア) 日本語日本文学科

日本語日本文学科は、日本語・日本文学の探究を基盤として、日本の文化について幅広くとらえ、その更なる創造と発展に寄与することのできる人間を育成することを目的としている。

イ) 英語文化コミュニケーション学科

英語文化コミュニケーション学科は、英語を中心としたコミュニケーション能力を高めるとともに、さまざまな文化に対する視野を広げ、国際的に活躍できる人間を育成することを目的としている。

ウ) メディア情報学科

メディア情報学科は、メディアに対する深い知識を身につけ、その内容である情報を文化的・社会的に幅広く理解し、メディアクリエーターとして実践的に情報発信に携わることのできる人間を育成することを目的としている。

エ) 社会マネジメント学科

社会マネジメント学科は、社会を通じて自らの存在を理解し、多様な社会生活の場で必要とされる企画、運営、実行の基礎となる能力を修得することにより、実際の社会で生き生きと活躍できる女性を養成することを目的としている。

オ) 人間心理学科

人間心理学科は、多様な視点から現代人の心を探求することにより、他者の心を理解しつつ自分自身の感覚と判断に従って自立的に生きる態度を培い、社会において幅広く活躍できる女性を養成することを目的としている。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであるとの客観的な根拠
ア) 日本語日本文学科

日本語日本文学科卒業生の直近4年間（2019年度～2022年度）の就職率は、2019年度は95.7%、2020年度は93.1%、2021年度は94.3%、2022年度は95.1%と非常に高い水準を保っている【資料13】。また、日本語日本文学科に寄せられた過去4年間の求人件数の平均は12,355件である【資料14】。これらのデータは、社会的、地域的な人材需要に合致したものであることを示しており、この需要は一定の割合で継続していると言える。

イ) 英語文化コミュニケーション学科

英語文化コミュニケーション学科卒業生の直近4年間（2019年度～2022年度）の就職率は、2019年度から2022年度までの全ての期間において100%と非常に高い水準を保っている【資料13】。また、英語文化コミュニケーション学科に寄せられた過去4年間の求人件数の平均は12,378件である【資料14】。これらのデータは、社会的、地域的な人材需要に合致したものであることを示しており、この需要は一定の割合で継続していると言える。

ウ) メディア情報学科

メディア情報学科卒業生の直近4年間（2019年度～2022年度）の就職率は、2019年度と2021年度は100%、2020年度は94.1%、2022年度は96.1%と極めて高い水準を保っている【資料13】。就職先の業種については、情報通信業を中心に多岐にわたっているが、職種についてはSEが毎年上位を占め、メディア情報学科の専門知識を活かした職場への就職を果たしていると言える【資料15】。また、メディア情報学科に寄せられた過去4年間の求人件数の平均は12,405.8件である【資料14】。

今後の採用の見通しについては、リクルートワークス研究所による「ワークス採用見通し調査（新卒：2024年卒）」の「業種別 2024年卒者の新卒採用見通し」によると、情報通信業は前年度より19.3%ポイント上回っており、採用意欲が他の業種より非常に高くなっている【資料16】。

以上のデータは、社会的、地域的な人材需要に合致したものであることを示しており、今後しばらくは高い水準で継続していくものと考えられる。

エ) 社会マネジメント学科

社会マネジメント学科卒業生の直近4年間（2019年度～2022年度）の就職率は、2019年

度は 97.7%、2020 年度は 94.7%、2021 年度は 97.4%、2022 年度は 98.5% と非常に高い水準を保っている【資料 13】。また、社会マネジメント学科に寄せられた過去 4 年間の求人件数の平均は 12,495.8 件である【資料 14】。これらのデータは、社会的、地域的な人材需要に合致したものであることを示しており、この需要は一定の割合で継続しているものと言える。

オ) 人間心理学科

人間心理学科卒業生の直近 4 年間(2019 年度～2022 年度)の就職率は、2019 年度は 97.0%、2020 年度は 98.3%、2021 年度は 97.4%、2022 年度は 96.3% と非常に高い水準を保っている【資料 13】。就職先の業種については、社会保険・社会福祉・介護事業、小売業を中心に多岐にわたっているが、職種については事務職、サービス職、介護職・生活支援員が例年上位を占めており、さらには社会福祉士や児童指導員として就職しているなど、学科での専門的な学びを活かした職場への就職を果たしている【資料 17】。また、人間心理学科に寄せられた過去 4 年間の求人件数の平均は 12,523 件である【資料 14】。

今後の採用見通しについては、リクルートワーク研究所による「ワークス採用見通し調査(新卒：2024 年卒)」の「業種別 2024 年卒者の新卒採用見通し」によると、医療・福祉は前年度より 5.7% ポイント上回っており、採用意欲が高まっていることがわかる【資料 16】。

以上のデータは、社会的、地域的な人材需要に合致したものであることを示しており、今後しばらくは高い水準で継続していくものと考えられる。

学生の確保の見通し等を記載した書類
資料目次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

- 【資料 1】過去 5 年間の入学志願状況（2019～2023 年度）・・・P. 3
大学全体、学芸学部日本語日本文学科・英語文化コミュニケーション学科・
メディア情報学科・人間社会学部社会マネジメント学科・人間心理学科
- 【資料 2】18 歳人口予測（全体：都道府県別：2022→2034 年）・・・P. 4
リクルート進学総研マーケットリポート 2022 vol. 106 2023 年 2 月号 P. 5
https://souken.shingakunet.com/research/pdf/202302_souken_report.pdf
- 【資料 3】18 歳人口予測（女子：エリア別：2022～2034 年）・・・P. 5
リクルート進学総研マーケットリポート 2022 vol. 106 2023 年 2 月号 P. 8
https://souken.shingakunet.com/research/pdf/202302_souken_report.pdf
- 【資料 4】大学進学率の推移（現役：エリア別：2013～2022 年）・・・P. 6
リクルート進学総研マーケットリポート 2022 vol. 106 2023 年 2 月号 P. 9
https://souken.shingakunet.com/research/pdf/202302_souken_report.pdf
- 【資料 5】大学・短期大学・専門学校進学率（現役：都道府県別：2022 年）・・・P. 7
リクルート進学総研マーケットリポート 2022 vol. 106 2023 年 2 月号 P. 15
https://souken.shingakunet.com/research/pdf/202302_souken_report.pdf
- 【資料 6】「生徒に人気がある大学 女子大学編」・・・P. 8
大学通信「2022 年 進路指導教諭が評価する大学」
<https://univ-online.com/rank4/y2022/popular/r1940411/>
- 【資料 7】「小規模だが評価できる大学 女子大学編」・・・P. 9
大学通信「2022 年 進路指導教諭が評価する大学」
<https://univ-online.com/rank4/y2022/appreciated/r1940407/>
- 【資料 8】「面倒見が良い大学 女子大学編」・・・P. 10
大学通信「2022 年 進路指導教諭が評価する大学」
<https://univ-online.com/rank4/y2022/careful/r1940401/>

【資料 9】オープンキャンパス参加状況（2020～2022 年度）・・・P. 11

【資料 10】主な学部別の志願者・入学者動向（大学）・・・P. 12

日本私立学校振興・共済事業団「令和 4（2022）年度 私立大学・短期大学等入学志願動向」P. 25～26

<https://www.shigaku.go.jp/files/shigandoukouR4.pdf>

【資料 11】18 歳人口予測（男女別：全国：2022～2034 年）・・・P. 13

リクルート進学総研マーケットリポート 2022 vol. 106 2023 年 2 月号 P. 4

https://souken.shingakunet.com/research/pdf/202302_souken_report.pdf

【資料 12】大妻女子大学 2022 年度入試結果・・・P. 14

（2）人材需要の動向等社会の要請

【資料 13】過去 4 年間の就職率・・・P. 15

【資料 14】過去 4 年間の求人件数・・・P. 16

【資料 15】過去 4 年間業種別・職種別進路決定状況（メディア情報学科卒業生）・・・P. 17

【資料 16】業種別 2024 年卒の新卒採用見通し・・・P. 18

リクルートワークス研究所「ワークス採用見通し調査（新卒：2024 年卒）」P. 5

https://www.works-i.com/research/works-report/item/221221_saiyou.pdf

【資料 17】過去 4 年間業種別・職種別進路決定状況（人間心理学科卒業生）・・・P. 19

過去5年間の入学志願状況 (2019～2023年度)

項目：入学定員、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、充足率

	区分	2019	2020	2021	2022	2023
大学全体	入学定員	885	885	885	885	885
	志願者数	2656	3367	2686	1985	1578
	受験者数	2545	3250	2583	1887	1488
	合格者数	2104	1950	1716	1589	1341
	入学者数	1045	1045	879	791	701
	充足率	118.1%	118.1%	99.3%	89.4%	79.2%

学科	区分	2019	2020	2021	2022	2023
日本語日本文学科	入学定員	130	130	130	130	130
	志願者数	290	451	286	195	160
	受験者数	282	435	271	186	152
	合格者数	269	271	202	173	144
	入学者数	129	153	109	79	75
	充足率	99.2%	117.7%	83.8%	60.8%	57.7%

学科	区分	2019	2020	2021	2022	2023
英語文化コミュニケーション学科	入学定員	120	120	120	120	120
	志願者数	369	438	250	187	119
	受験者数	354	428	241	177	115
	合格者数	273	243	213	174	114
	入学者数	151	126	77	65	59
	充足率	125.8%	105.0%	64.2%	54.2%	49.2%

学科	区分	2019	2020	2021	2022	2023
メディア情報学科	入学定員	80	80	80	80	80
	志願者数	186	382	342	234	194
	受験者数	178	367	335	229	184
	合格者数	176	217	166	170	157
	入学者数	89	125	108	111	104
	充足率	111.3%	156.3%	135.0%	138.8%	130.0%

学科	区分	2019	2020	2021	2022	2023
社会マネジメント学科	入学定員	120	120	120	120	120
	志願者数	408	530	432	264	230
	受験者数	393	509	422	252	218
	合格者数	310	291	286	234	210
	入学者数	150	140	112	83	72
	充足率	125.0%	116.7%	93.3%	69.2%	60.0%

学科	区分	2019	2020	2021	2022	2023
人間心理学科	入学定員	110	110	110	110	110
	志願者数	393	420	405	281	232
	受験者数	374	410	395	269	222
	合格者数	253	204	210	204	203
	入学者数	149	128	124	118	116
	充足率	135.5%	116.4%	112.7%	107.3%	105.5%

学科	区分	2019	2020	2021	2022	2023
人間心理学科・編入学	入学定員	12	12	12	12	12
	志願者数	3	3	5	4	2
	受験者数	3	3	5	4	2
	合格者数	3	3	5	3	2
	入学者数	3	2	5	3	2
	充足率	25.0%	16.7%	41.7%	25.0%	16.7%

【資料 2】18 歳人口予測（全体：都道府県別：2022→2034 年）

1. 出典

株式会社リクルート リクルート進学総研

2. 引用範囲

「リクルート進学総研マーケットリポート 2022 Vol. 106 2023 年 2 月号」

https://souken.shingakunet.com/research/pdf/202302_souken_report.pdf

5 ページ「18 歳人口予測（全体：都道府県別：2022→2034 年）」

3. その他

・資料番号とページ数を付すとともに、出典について明記した。

【資料 3】18 歳人口予測（女子：エリア別：2022～2034 年）

1. 出典

株式会社リクルート リクルート進学総研

2. 引用範囲

「リクルート進学総研マーケットリポート 2022 Vol. 106 2023 年 2 月号」

https://souken.shingakunet.com/research/pdf/202302_souken_report.pdf

8 ページ「18 歳人口予測（女子：エリア別：2022～2034 年）」

3. その他

・資料番号とページ数を付すとともに、出典について明記した。

【資料 4】大学進学率の推移（現役：エリア別：2013～2022 年）

1. 出典

株式会社リクルート リクルート進学総研

2. 引用範囲

「リクルート進学総研マーケットリポート 2022 Vol. 106 2023 年 2 月号」

https://souken.shingakunet.com/research/pdf/202302_souken_report.pdf

9 ページ「大学進学率の推移（現役：エリア別：2013～2022 年）」

3. その他

・資料番号とページ数を付すとともに、出典について明記した。

【資料 5】大学・短期大学・専門学校進学率（現役：都道府県別：2022 年）

1. 出典

株式会社リクルート リクルート進学総研

2. 引用範囲

「リクルート進学総研マーケットリポート 2022 Vol. 106 2023 年 2 月号」

https://souken.shingakunet.com/research/pdf/202302_souken_report.pdf

15 ページ「大学・短期大学・専門学校進学率（現役：都道府県別：2022 年）」

3. その他

・資料番号とページ数を付すとともに、出典について明記した。

【資料 6】「生徒に人気がある大学 女子大学編」

1. 出典

株式会社大学通信

2. 引用範囲

大学通信 ONLINE

2022 年 進路指導教諭が評価する大学

「生徒に人気がある大学 女子大学編」

<https://univ-online.com/rank4/y2022/popular/r1940411/>

【資料 7】「小規模だが評価できる大学 女子大学編」

1. 出典

株式会社大学通信

2. 引用範囲

大学通信 ONLINE

2022 年 進路指導教諭が評価する大学

「小規模だが評価できる大学 女子大学編」

<https://univ-online.com/rank4/y2022/appreciated/r1940407/>

【資料 8】「面倒見が良い大学 女子大学編」

1. 出典

株式会社大学通信

2. 引用範囲

大学通信 ONLINE

2022 年 進路指導教諭が評価する大学

「面倒見が良い大学 女子大学編」

<https://univ-online.com/rank4/y2022/careful/r1940401/>

【資料9】

2020年度オープンキャンパス参加状況

	3/21(土) 中止	5/24(日) 中止	6/21(日) オンライン(1-3年)	7/12(日) オンライン(1-3年)	8/2 (日) 来場(3年) オンライン(3年)	8/23(日) 来場(3年) オンライン(1-3年)	9/20 (日) 来場 (2-3年) オンライン(1-3年)	11/28 (土) 来場	全日程合計
日本語日本文学科			43	23	48	30	26	10	180
英語文化コミュニケーション学科			22	22	25	28	27	15	139
子ども教育学科			50	37	86	66	61	20	320
メディア情報学科			29	31	39	41	45	16	201
生活デザイン学科			22	35	44	23	37	19	180
社会マネジメント学科			22	26	43	33	29	14	167
人間心理学科			46	35	64	34	50	32	261
健康栄養学科			51	37	54	34	33	15	224
管理栄養学科			67	52	61	34	52	17	283
食物栄養学科			41	42	56	31	28	2	200
大学院			0	0	0	0	0	0	0
未定			75	132	118	277	207	31	840
合計			468	472	638	631	595	191	2995

2021年度オープンキャンパス参加状況

	3/20 (土) 来場	5/23 (日) 来場	6/20 (日) 来場	7/11 (日) 来場	8/1 (日) 来場	8/22 (日) オンライン	9/19 (日) オンライン	11/28 (日) 来場	全日程合計
日本語日本文学科	12	24	28	32	46	47	34	13	236
英語文化コミュニケーション学科	15	14	21	14	39	41	23	9	176
子ども教育学科	39	49	53	50	108	116	37	17	469
メディア情報学科	21	27	36	27	48	68	40	13	280
生活デザイン学科	12	24	27	26	50	64	38	13	254
社会マネジメント学科	14	14	15	28	33	48	32	14	198
人間心理学科	23	32	42	49	80	95	59	17	397
健康栄養学科	21	26	38	29	57	56	28	14	269
管理栄養学科	58	69	50	68	107	84	42	26	504
食物栄養学科	19	23	30	13	41	47	22	7	202
大学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未定	2	13	14	12	28	47	4	17	137
合計	236	315	354	348	637	713	359	160	3122

2022年度オープンキャンパス参加状況

	3/19 (土) 来場	4/30 (土) ミニOC来場	5/22 (日) 来場	6/19 (日) 来場	7/10 (日) 来場	7/31 (日) 来場	8/21 (日) 来場	9/18 (日) 来場	10/8(土) ミニOC来場	11/27 (日) 来場	全日程合計
日本語日本文学科	17	7	19	29	32	55	62	19	5	13	258
英語文化コミュニケーション学科	12	6	12	18	14	26	47	19	13	6	173
子ども教育学科	31	14	31	40	34	93	78	27	7	15	370
メディア情報学科	27	7	21	31	27	60	52	36	11	14	286
生活デザイン学科	23	12	21	27	21	56	60	25	13	13	271
社会マネジメント学科	13	5	9	21	10	30	35	13	12	6	154
人間心理学科	29	14	31	36	38	87	75	35	26	25	396
健康栄養学科	16	14	20	25	28	42	47	16	7	3	218
管理栄養学科	36	27	45	51	61	89	92	25	18	12	456
食物栄養学科	11	11	13	20	22	32	28	11	7	9	164
大学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未定	11	6	10	19	23	56	84	14	5	19	247
合計	226	123	232	317	310	626	660	240	124	135	2993

【資料 10】主な学部別の志願者・入学者動向（大学）

1. 出典

日本私立学校振興・共済事業団

2. 引用範囲

「令和 4（2022）年度 私立大学・短期大学等入学志願動向」

<https://www.shigaku.go.jp/files/shigandoukouR4.pdf>

25~26 ページ「主な学部別の志願者・入学者動向（大学）」

3. その他

・資料番号とページ数を付すとともに、出典について明記した。

【資料 11】18 歳人口予測（男女別：全国：2022～2034 年）

1. 出典

株式会社リクルート リクルート進学総研

2. 引用範囲

「リクルート進学総研マーケットリポート 2022 Vol. 106 2023 年 2 月号」

https://souken.shingakunet.com/research/pdf/202302_souken_report.pdf

4 ページ「18 歳人口予測（男女別：全国：2022～2034 年）」

3. その他

・資料番号とページ数を付すとともに、出典について明記した。

【資料12】

大妻女子大学 2022年度入試結果

【メディア情報学科用】

社会情報学部 社会情報学科 千代田キャンパス

	入学定員	入学者数	充足率	志願者数 *	受験者数 *	合格者数 *
社会生活情報学専攻	100	105	105%	489	465	194
環境情報学専攻	100	102	102%	231	221	112
情報デザイン専攻	100	105	105%	375	362	128

【人間心理学科用】

人間関係学部 人間関係学科 社会・臨床心理学専攻、人間福祉学科 多摩キャンパス

	入学定員	入学者数	充足率	志願者数 *	受験者数 *	合格者数 *
人間関係学科 社会・臨床心理学専攻	80	91	114%	322	312	199
人間福祉学科	100	101	101%	187	167	66

* 志願者数、受験者数、合格者数には指定校推薦者数を含まない（データ非公表）

【資料13】

過去4年間の就職率

		就職率※			
		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
学芸学部	日文	95.7%	93.1%	94.3%	95.1%
	英文	100%	100%	100%	100.0%
	教育	100%	98.0%	97.7%	100.0%
	メディア	100%	94.1%	100%	96.1%
	デザイン	100%	94.4%	96.9%	97.1%
	学芸学部計	99.1%	96.3%	97.9%	97.8%
人間社会学部	社会	97.7%	94.7%	97.4%	98.5%
	心理	97.0%	98.3%	97.4%	96.3%
	人間社会学部計	97.3%	96.3%	97.4%	97.5%
栄養科学部	健康	100%	100%	100%	97.5%
	管理	99.0%	100%	100%	99.1%
	栄養科学部計	99.4%	100%	100%	98.4%
大学合計		98.8%	97.4%	98.3%	97.8%

※就職希望者に対する就職者数の割合

過去4年間の求人件数

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	平均
学芸学部日本語日本文学科	12273	12089	11646	13412	12355
学芸学部英語文化コミュニケーション学科	12296	12120	11659	13437	12378
学芸学部子ども教育学科	12804	12846	12304	14059	13003.3
学芸学部メディア情報学科	12314	12150	11694	13465	12405.8
学芸学部生活デザイン学科	12307	12208	11762	13561	12459.5
人間社会学部社会マネジメント学科	12378	12266	11775	13564	12495.8
人間社会学部人間心理学科	12395	12297	11818	13582	12523
栄養科学部健康栄養学科	12300	12127	11662	13460	12387.3
栄養科学部管理栄養学科	12301	12144	11685	13480	12402.5

過去4年間業種別・職種別進路決定状況(メディア情報学科卒業生)

(1)業種別決定状況

	2019	2020	2021	2022
情報通信業	20名	17名	22名	31名
その他のサービス業	6名	4名	4名	16名
小売業	6名	1名	8名	6名
社会保険・社会福祉・介護事業	2名	3名	4名	
医療業、保健衛生	2名	1名	4名	4名
その他の専門・技術サービス業	2名	1名		3名
化学工業、石油・石炭製品製造業	1名			2名
金融業	1名	1名		2名
建設業	1名	1名	2名	2名
物品貯蔵業	1名			
不動産取引・賃貸・管理業	1名			
印刷・同関連業				2名
卸売業	2名	1名	1名	1名
宿泊業、飲食サービス業		1名		
生活関連サービス業、娯楽業	1名	1名	2名	1名
法務	1名			
運輸業、郵便業	1名			
鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業	1名			
電気・情報通信機械器具製造業				1名
複合サービス事業				1名
保険業				1名
繊維工業			1名	
学校教育			1名	
その他の製造業			1名	
上記以外	1名			1名

(2)職種別決定状況

	2019	2020	2021	2022
S E	15名	14名	17名	22名
総合職	4名	8名	8名	14名
販売職	5名		7名	3名
事務職	8名	3名	6名	9名
サービス職	4名	2名		
介護職・生活支援員		2名	4名	
営業職	3名	1名	3名	5名
映像撮影者・A D・俳優	3名	1名	1名	4名
インストラクター	1名			
デザイナー (WEBデザイナー他)	1名	1名		4名
その他の専門職				4名
その他の保険医療従事者	1名			
プログラマー				2名
サービス職			2名	2名
エステティシャン				1名
経営者・代表職・社長 (起業含む)			1名	
製造職			1名	1名
その他			1名	3名

【資料 16】業種別 2024 年卒の新卒採用見通し

1. 出典

株式会社リクルート リクルートワークス研究所

2. 引用範囲

「Works flash ワークス採用見通し調査（新卒：2024 年卒）」

https://www.works-i.com/research/works-report/item/221221_saiyou.pdf

5 ページ「業種別 2024 年卒者の新卒採用見通し（大学生・大学院生）」

3. その他

・資料番号とページ数を付すとともに、出典について明記した。

過去4年間業種別・職種別進路決定状況（人間心理学科卒業生）

(1) 業種別決定状況

	2019	2020	2021	2022
社会保険・社会福祉・介護事業	18名	17名	17名	28名
小売業	8名	11名	15名	17名
その他のサービス業	8名	8名	11名	10名
その他の専門・技術サービス業	3名	1名	3名	8名
医療業、保健衛生	5名	1名	8名	6名
卸売業	2名		4名	6名
情報通信業	2名	4名	4名	5名
宿泊業、飲食サービス業	4名	4名	1名	4名
生活関連サービス業、娯楽業	6名	4名		3名
複合サービス事業	2名		1名	3名
建設業	1名	1名	1名	
金融業		1名		2名
地方公務		1名	2名	2名
不動産取引・賃貸・管理業	1名	2名	1名	2名
はん用・生産用・輸送用機械器具製造業		1名	1名	2名
その他の教育、学習支援業	3名	1名	2名	1名
物品賃貸業	1名		1名	1名
保険業			1名	
鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業			1名	
宿泊業、飲食サービス業	4名		1名	
運輸業、郵便業	1名		3名	1名
化学工業、石油・石炭製品製造業	1名		1名	1名
食料品・飲料・たばこ・飼料製造業	1名	1名		1名
上記以外			1名	

(2) 職種別決定状況

	2019	2020	2021	2022
総合職		12名	15名	26名
事務職		8名	19名	19名
介護職・生活支援員		8名	7名	12名
児童指導員		1名	5名	8名
営業職		3名	2名	7名
サービス職		11名	8名	7名
S E		2名	3名	6名
販売職		5名	7名	6名
社会福祉士		4名	5名	5名
エステティシャン		1名	1名	3名
教諭（その他学習塾など）			1名	1名
製造職		1名	1名	1名
保育士				1名
看護師			1名	
プログラマー		1名	1名	
その他		1名	1名	1名

教員名簿

学長の氏名等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現職 (就任年月)
—	学長	タバタ マサヒデ 田畑 雅英 <令和3年4月>		文学修士		相模女子大学 学長 相模女子大学短期大学部 学長 (令和3.4～令和6.3)

(注) 高等専門学校にあっては校長について記入すること。